

令和4年度宮城県  
多文化共生アンケート調査  
(外国人対象調査)

調査結果報告書【概要版】

令和5年3月

宮城県



---

# 目 次

I	調査概要	1
1.	調査の目的	1
2.	調査対象	1
3.	調査方法	1
4.	調査期間	1
5.	調査票言語	1
6.	調査項目	1
7.	回収結果	1
8.	調査結果の見方	2
9.	宮城県における在留外国人の概況	3
	（1）在留外国人数の推移	3
	（2）国籍別登録者数	3
	（3）在留資格別登録者数	4
	（4）年齢別登録者数	4
	（5）男女別登録者数	5
II	調査結果	6
1.	基本属性	6
	（1）国籍	6
	（2）居住地	6
	（3）性別	7
	（4）年齢	7
	（5）婚姻状況	8
	（6）同居人	8
	（7）在留資格	9
	（8）今後の居住予定	10
	（9）日本国籍の取得予定	10
2.	日常生活	11
	（10）生活満足度	11
	（11）個別の事柄の満足度	11

---

3. 言語	12
(12) 日本語能力	12
(13) 日本語の必要性	14
(14) 日本語の学習状況	14
(15) 日本語の学習方法	15
(16) 日本語を学習しない理由	15
4. 情報	16
(17) 生活に必要な情報の入手先	16
5. 居住	17
(18) 居住年数	17
(19) 以前の居住地	17
6. 医療・福祉	18
(20) 保健・医療・介護サービスの利用経験	18
(21) 病院で困った経験	19
(22) 病院に求める言語支援	19
7. 育児・教育	20
(23) 18歳未満の子どもの有無・年齢	20
(24) 子どもと会話する言語	21
(25) 育児で困っていること	21
(26) 子育て支援制度の利用経験	22
(27) 教育で困っていること	22
(28) 母国語・母国文化の教育	23
(29) 母国語・母国文化の教育をしていない理由	23
8. 労働	24
(30) 現在の雇用形態	24
(31) 現在の職業	24
(32) 現在の仕事の見つけ方	25
(33) 仕事上の困りごと・不満	26
(34) 今後の勤務地	26
(35) 仕事を探していない理由	27
9. 社会生活一般	28

---

（３６）日本人との付き合い .....	28
（３７）相談相手 .....	29
（３８）日本人との交流希望 .....	30
（３９）差別経験 .....	31
（４０）いやな経験、つらい思いの具体的内容 .....	31
（４１）現在困っていること .....	32
（４２）社会活動 .....	33
10. 防災・感染症対策 .....	34
（４３）防災用語についての知識 .....	34
（４４）災害から身を守る方法 .....	35
（４５）新型コロナウイルス感染症の影響による困りごと .....	35
（４６）災害（防災）や感染症（予防・対策）に関する情報の入手先 .....	36
11. 行政 .....	37
（４７）行政施設を利用する上で困ったこと .....	37
（４８）行政施設を利用する上でどのような時に困ったと感じたか .....	37
（４９）充実してほしい行政情報 .....	38
（５０）「外国人住民向け情報発信プラットフォーム」に求める情報や機能 .....	39
（５１）行政に求めること .....	40

## 参考資料

アンケート調査票



## I 調査概要

### 1. 調査の目的

県では、「多文化共生社会の形成の推進に関する条例」に基づき、平成31年3月に「第3期宮城県多文化共生社会推進計画」（平成31年度～令和5年度）を策定し、多文化共生施策の基本的方向性と取組方針を定め、これに基づいた施策を実施している。

今後の推進計画の改訂に向けた内容検討のため、県民（18歳以上の日本人県民及び外国人県民）に日常生活での困りごとや、地域での日本人・外国人の関わりについての意識調査を実施した。

### 2. 調査対象

宮城県内に住民登録のある18歳以上の外国人県民から無作為抽出した方を対象

### 3. 調査方法

設問法による無記名のアンケート調査（郵送配布・郵送回収・調査票に記載のURLやQRコードからのWEB回答併用）

### 4. 調査期間

令和4年11月28日（月）～令和4年12月26日（月）

※集計には令和5年1月18日（水）回収分までを含む

### 5. 調査票言語

日本語（ふりがな付き）、中国語（簡体字）、韓国語、英語、ベトナム語、ネパール語

### 6. 調査項目

1 基本属性（9問）	5 居住（2問）	9 社会生活一般（7問）
2 日常生活（2問）	6 医療・福祉（3問）	10 防災・感染症対策（4問）
3 言語（5問）	7 育児・教育（7問）	11 行政（5問）
4 情報（1問）	8 労働（6問）	12 自由意見 全52問

### 7. 回収結果

配付数	返戻数	①調査実施数 (配布数-返戻数)
1,900	64	1,836

郵送回収数	WEB回収数	②有効回収数 (郵送回収数+WEB回収数)	有効回収率 (②/①)
364	66	430	23.4%

（無効票：郵送1、WEB1を除く）

## 8. 調査結果の見方

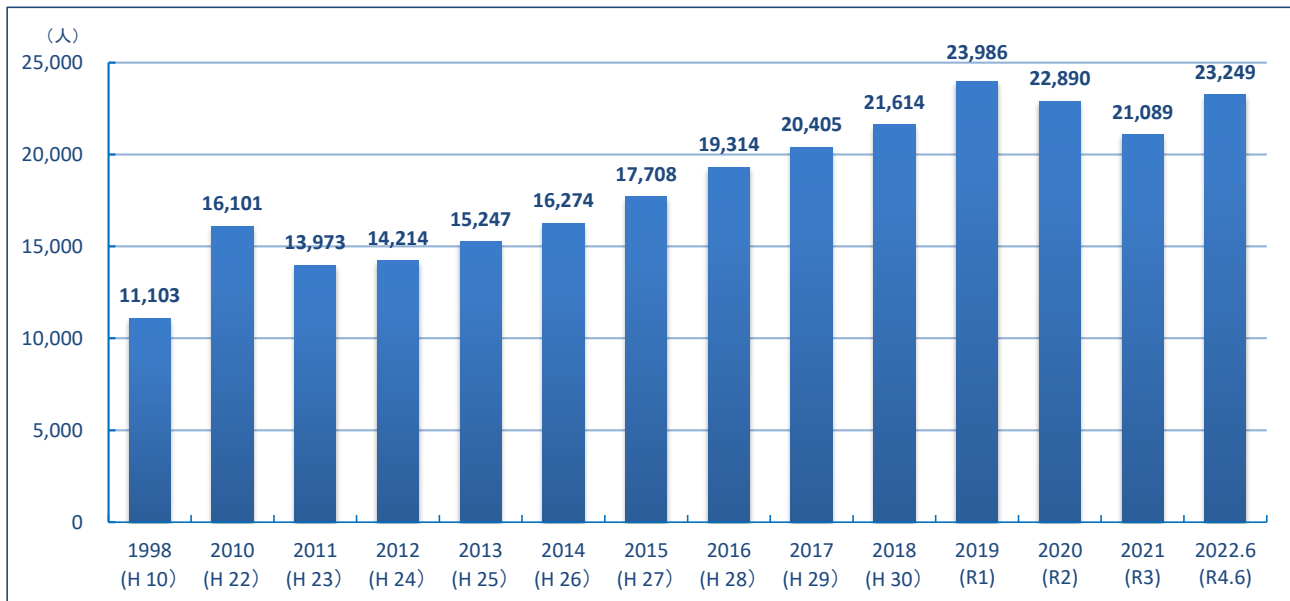
- (1) n (number of cases) は比率算出の基数であり、100.0%が何人の回答に相当するかを示す。
- (2) 回答の構成比は百分率であらわし、小数点第2位を四捨五入して算出している。したがって、単一回答形式の質問においては、回答比率を合計しても100.0%にならない場合がある。また、回答者が2つ以上の回答をすることができる複数回答形式の質問においては、各設問の調査数を基数として算出するため、全ての選択肢の比率を合計すると100.0%を超える。
- (3) 図表及び本文で、選択肢の語句等を一部簡略化している場合がある。
- (4) 調査数 (n 値) が少数のものは、回答構成比の信頼性が低いため、文章中の分析では言及していない。



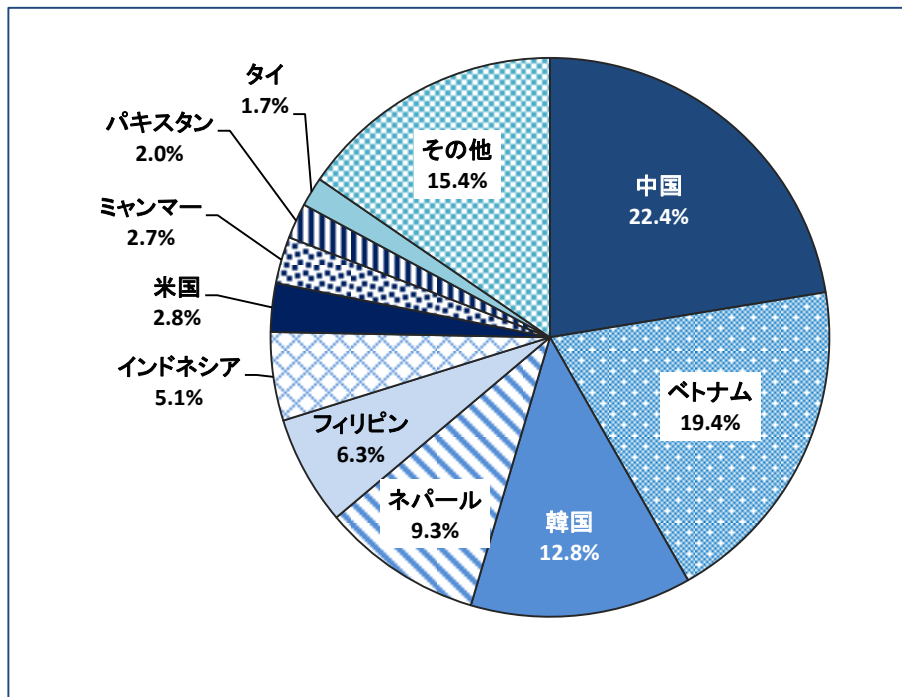
## 9. 宮城県における在留外国人の概況（令和4年（2022年）6月末現在）

（【出典】法務省「在留外国人統計」）

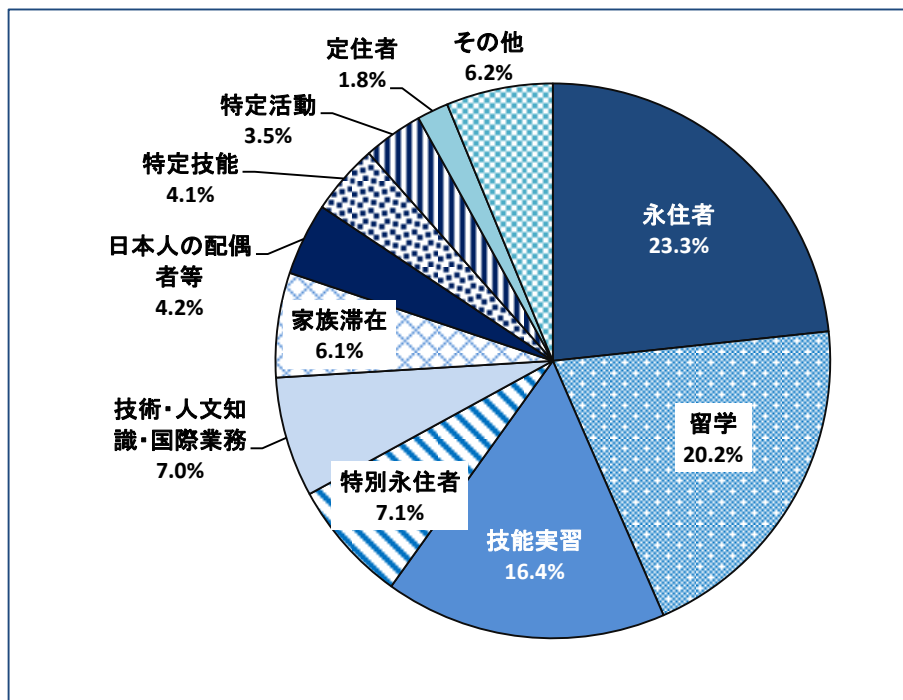
## （1）在留外国人数の推移



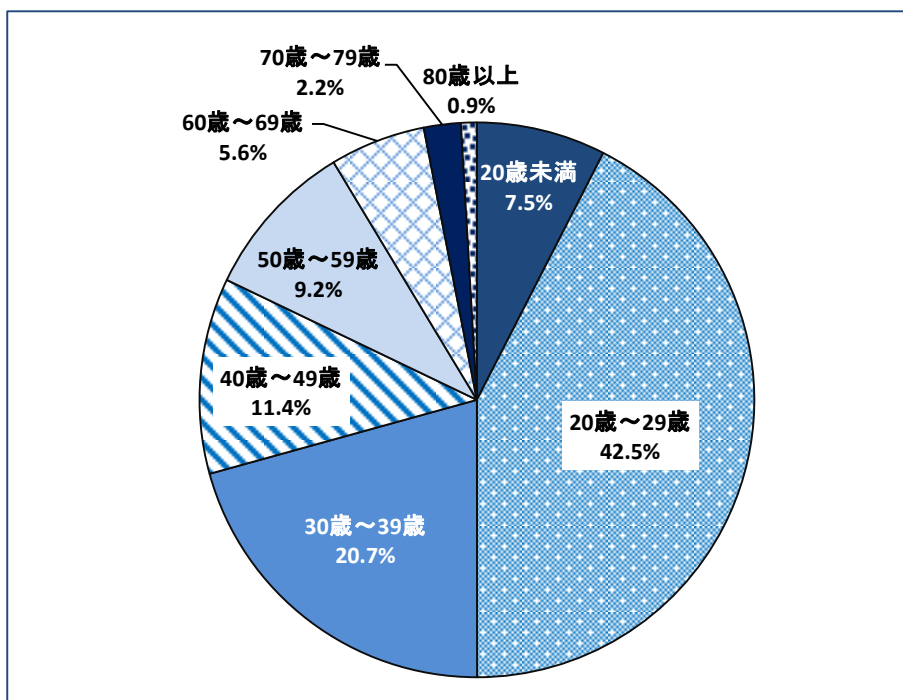
## （2）国籍別登録者数



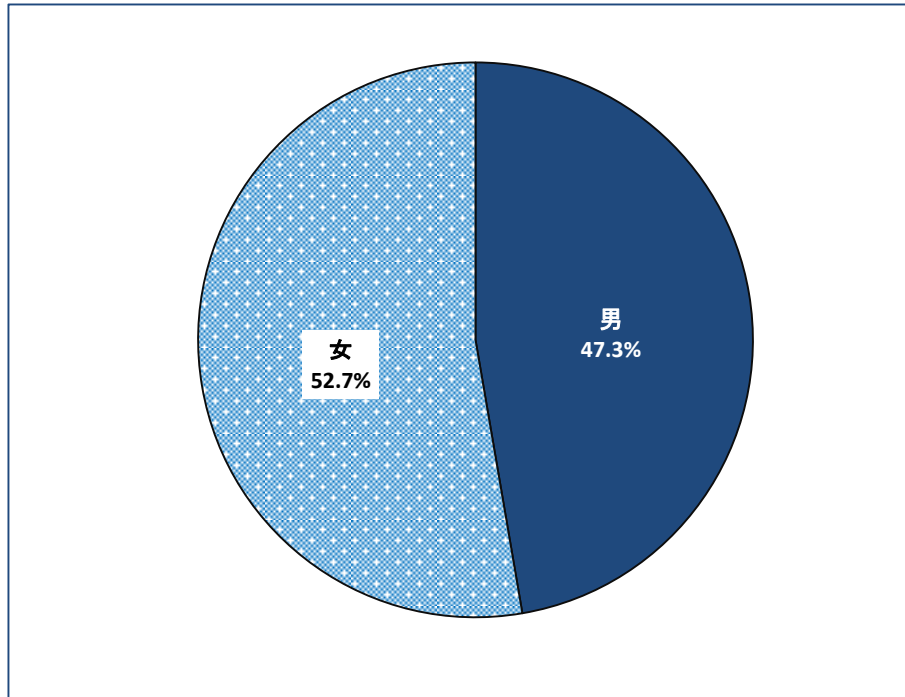
(3) 在留資格別登録者数



(4) 年齢別登録者数



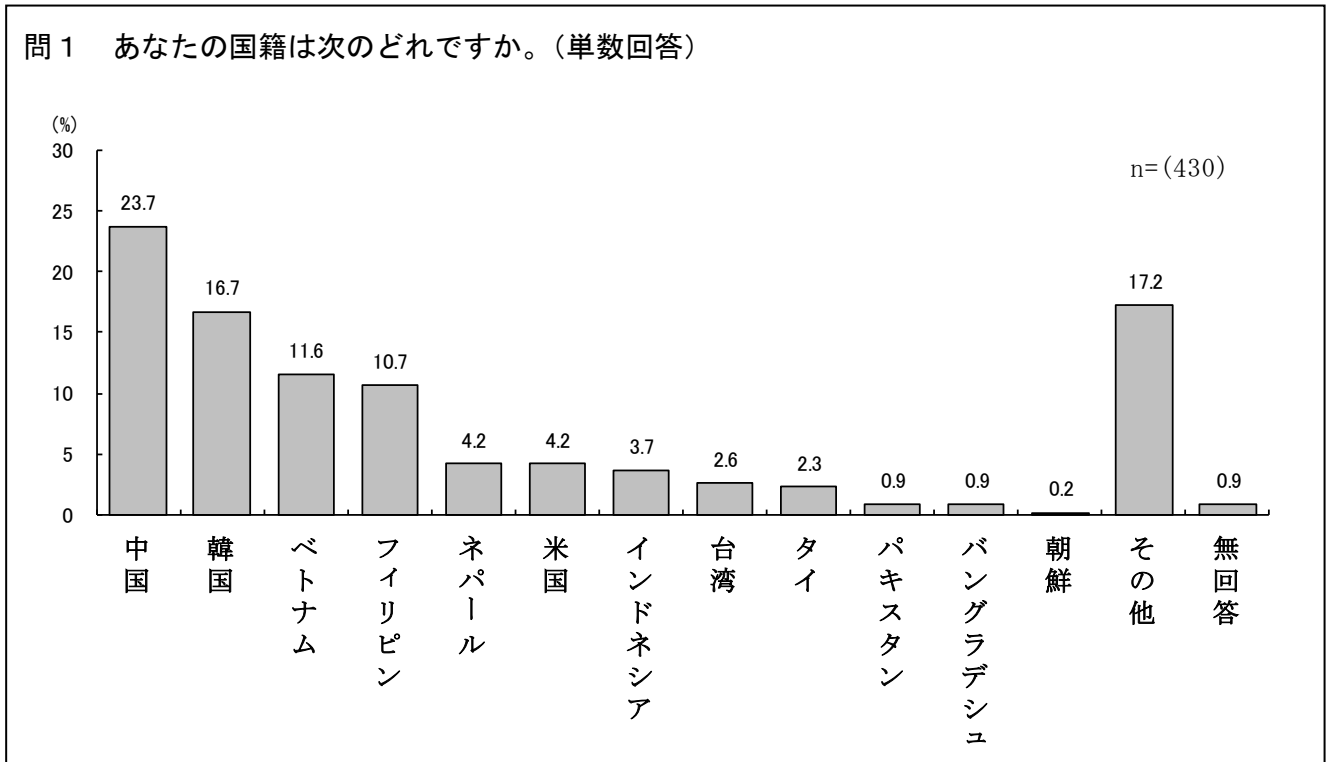
## (5) 男女別登録者数



## Ⅱ 調査結果

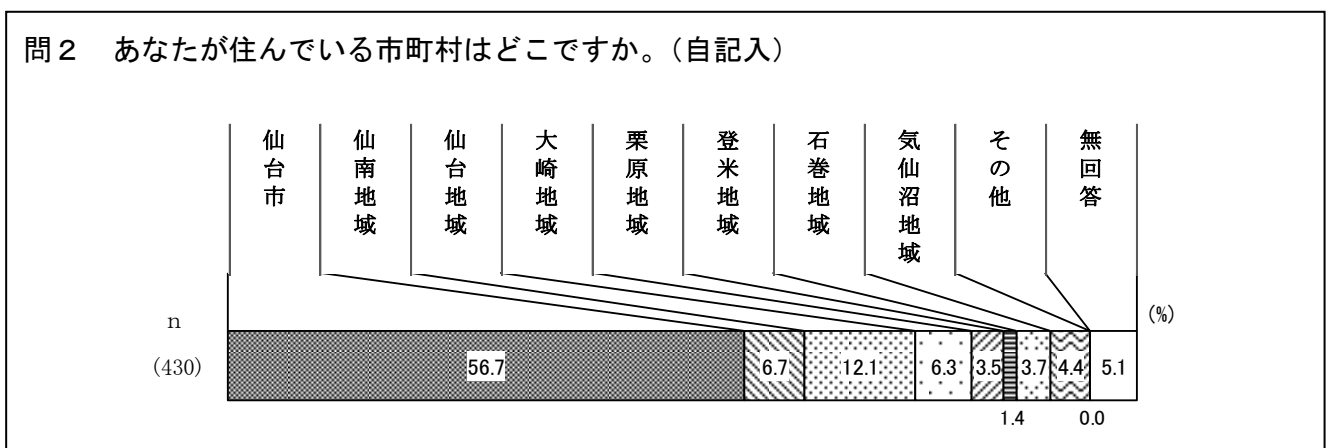
### 1. 基本属性

#### (1) 国籍



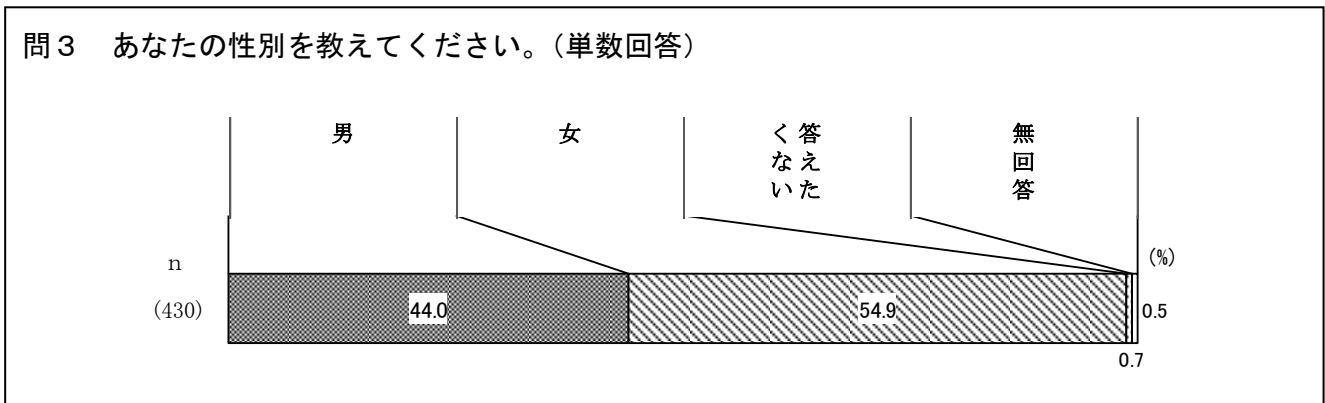
回答者の国籍は、「中国」が23.7%と最も多くなっており、以下、「韓国」が16.7%、「ベトナム」が11.6%、「フィリピン」が10.7%などとなっている。

#### (2) 居住地



回答者の居住地は、「仙台市」が56.7%と最も多く、以下、「仙台地域」が12.1%、「仙南地域」が6.7%、「大崎地域」が6.3%などとなっている。

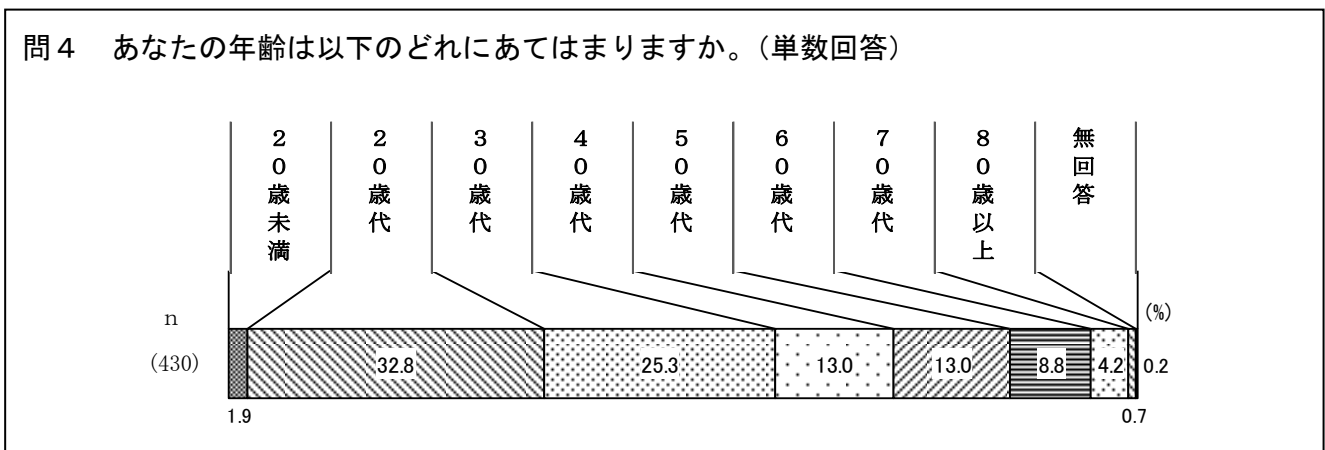
(3) 性別



回答者の性別は、「女性」が 54.9%と、「男性」の 44.0%をやや上回っている。

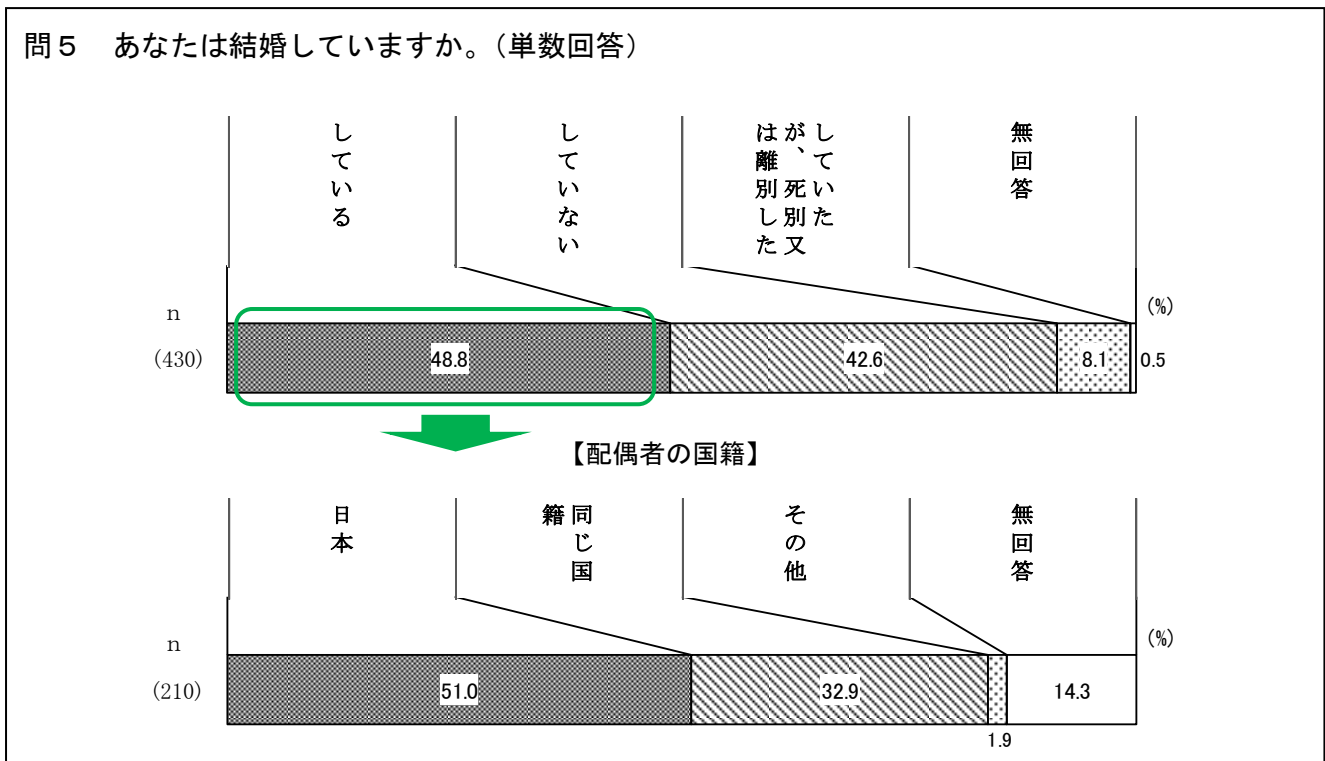
なお、2022 年 6 月の法務省在留外国人統計では、宮城県在住の外国籍者のうち「女性」は 52.7%、「男性」は 44.0%となっており、今回の調査では女性の回答者割合はやや高くなっている。

(4) 年齢



回答者の年齢は、「20歳代」が 32.8%と最も多く、以下「30歳代」が 25.3%、「40歳代」「50歳代」がともに 13.0%となっており、《30歳代以下》の回答者は全体の約 6 割を占める。

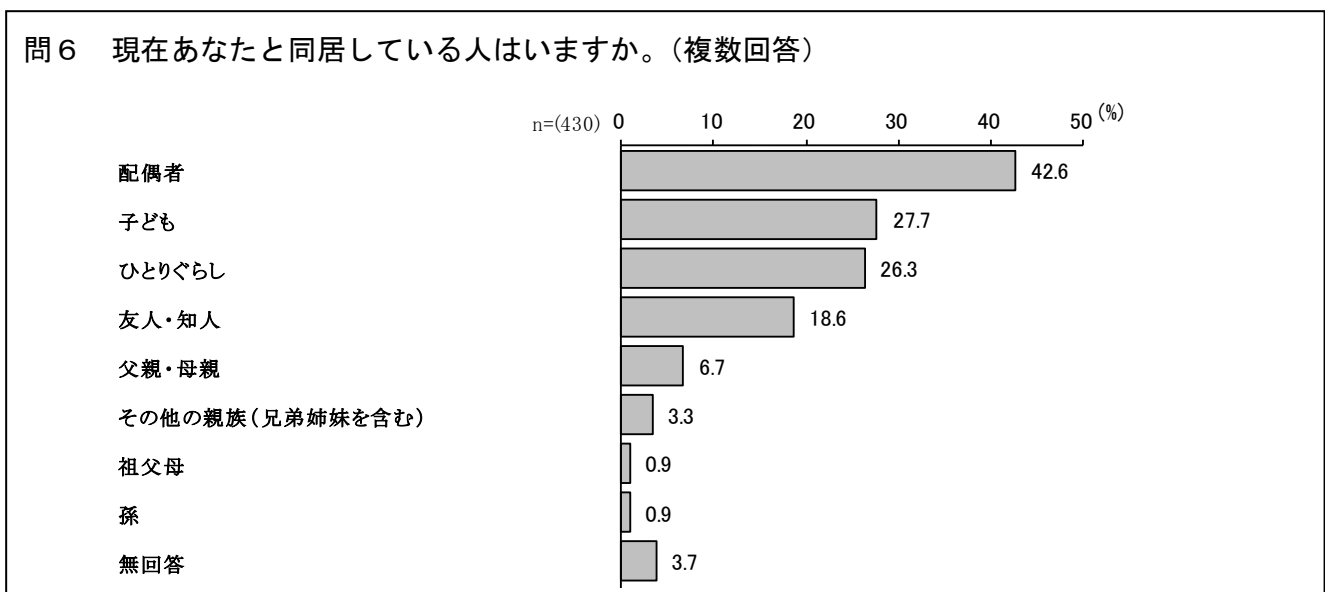
(5) 婚姻状況



回答者の婚姻状況は、48.8%が既婚、42.6%が未婚となっている。

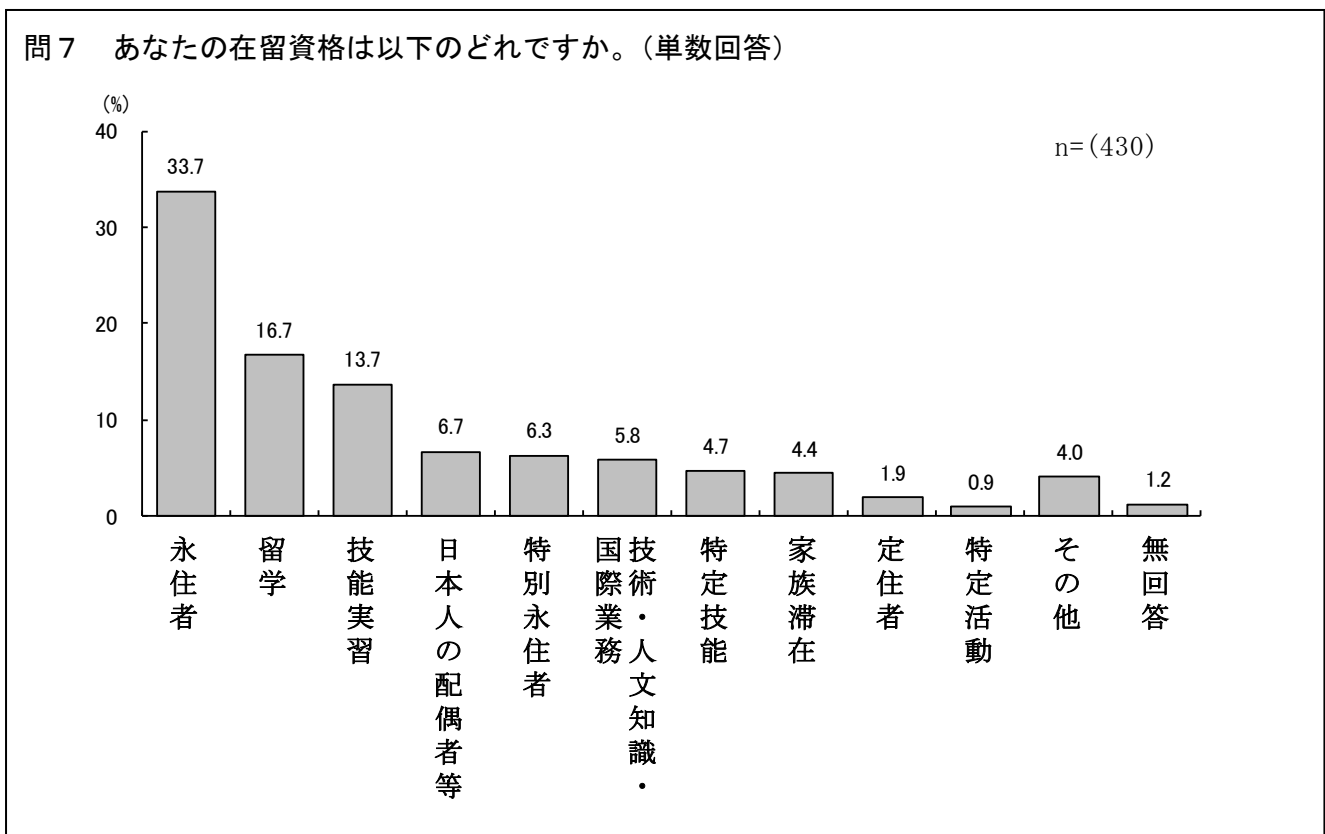
既婚者のうち、配偶者が日本国籍である人は51.0%と約半数を占めており、回答者と同国籍である人は32.9%である。

(6) 同居人



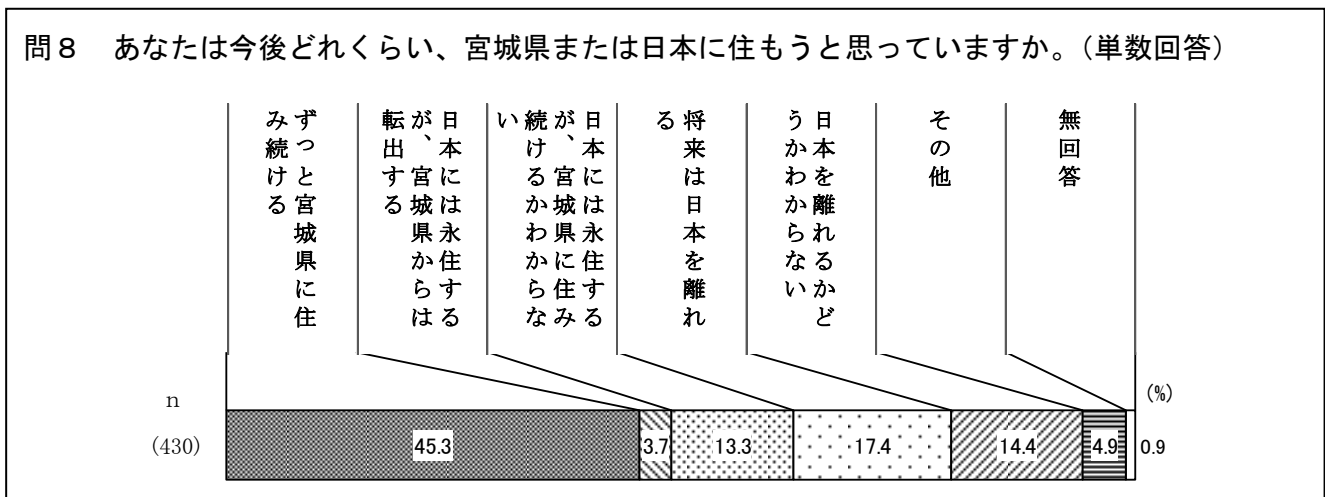
回答者の同居状況は、「ひとりぐらし」の人は26.3%で、誰かと同居している人は70.0%となっている。同居している相手は、「配偶者」が42.6%と最も多く、以下、「子ども」(27.7%)、「友人・知人」(18.6%)、「父親・母親」(6.7%)、「その他の親族 (兄弟姉妹を含む)」(3.3%) などとなっている。

## (7) 在留資格



回答者の在留資格は、「永住者」が 33.7%と最も多く、以下、「留学」(16.7%)、「技能実習」(13.7%)、「日本人の配偶者等」(6.7%)、「特別永住者」(6.3%) などとなっている。

(8) 今後の居住予定

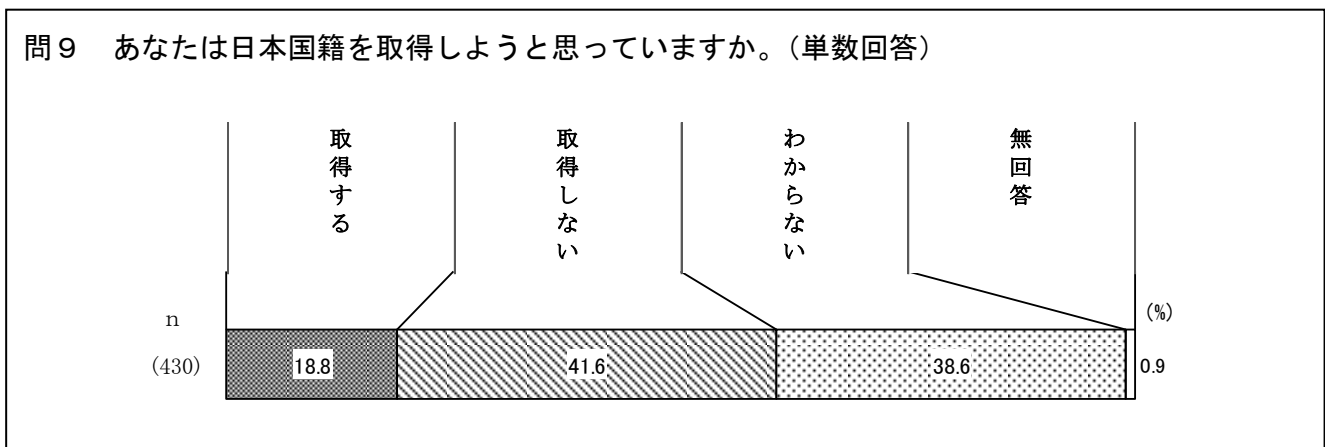


今後の居住予定は、「ずっと宮城県に住み続ける」が最も多く 45.3%となっている。

一方、「日本には永住するが、宮城県からは転出する」(3.7%)と「日本には永住するが、宮城県に住み続けるかわからない」(13.3%)を合わせた《宮城県以外で日本に定住》する人は17.0%で、「将来は日本を離れる」人も17.4%と、ほぼ同率となっている。

なお、「日本を離れるかどうかかわからない」人は14.4%となっている。

(9) 日本国籍の取得予定



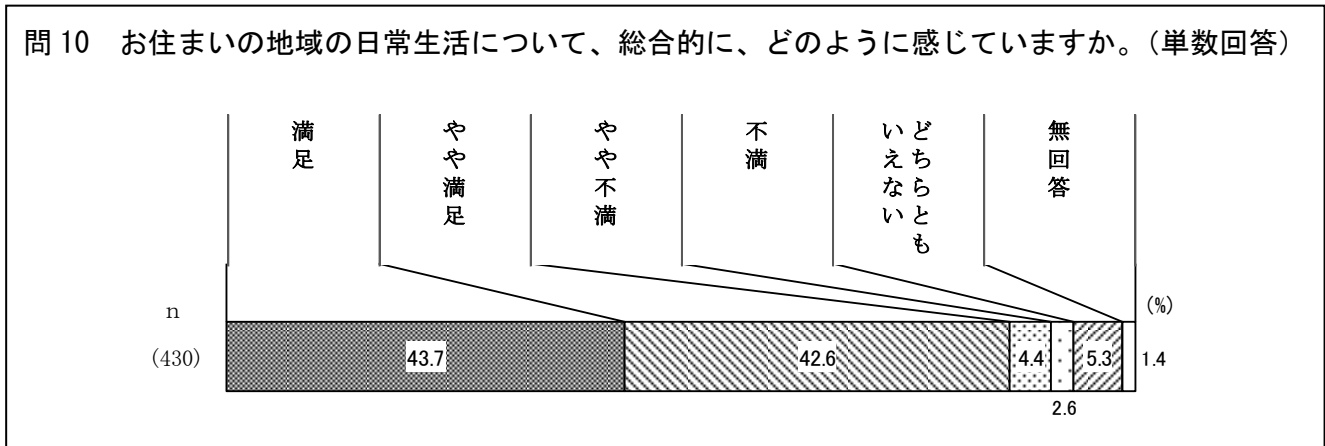
日本国籍の取得予定は、「取得しない」が41.6%と最も多く、「取得する」は18.8%にとどまっている。

なお、「わからない」と回答した不特定層は約4割存在する。



## 2. 日常生活

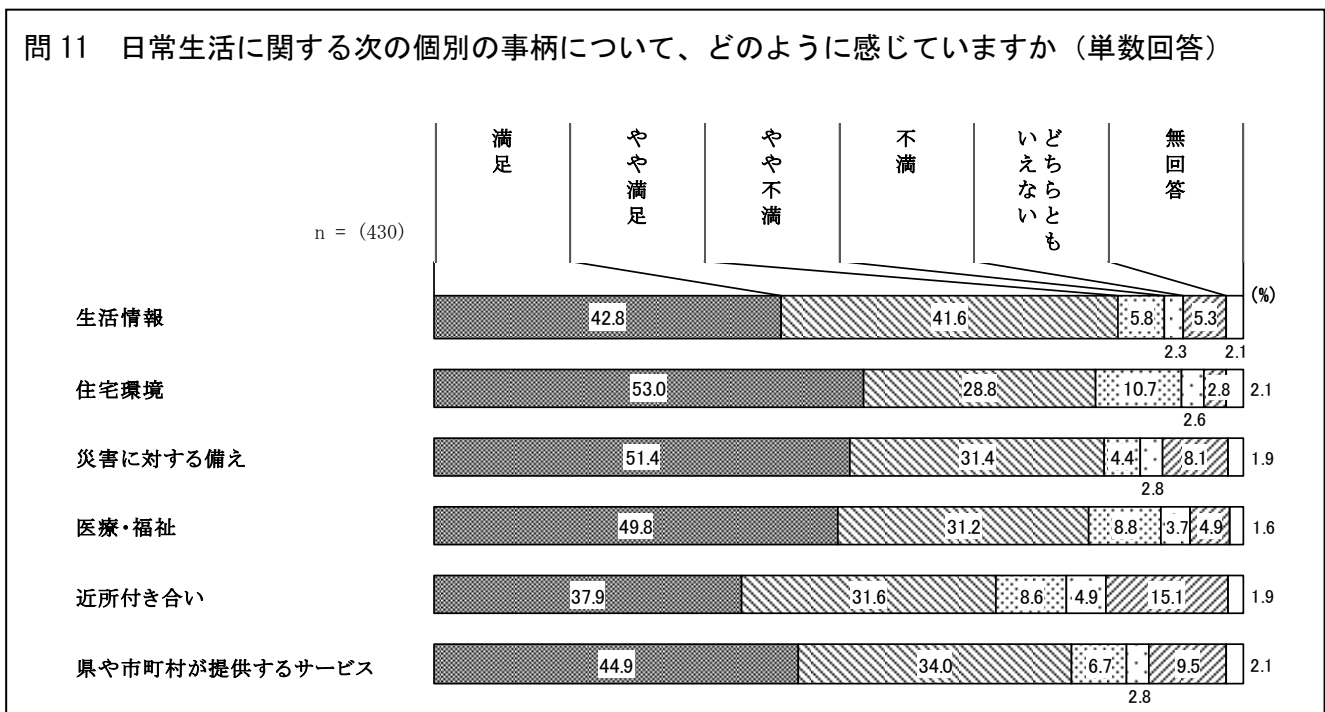
### (10) 生活満足度



日常生活の総合的な満足度は、「満足」(43.7%)と「やや満足」(42.6%)を合わせた《満足》と回答した人は86.3%を占める。

一方で、「やや不満」(4.4%)と「不満」(2.6%)を合わせた《不満》と回答した人は7.0%にとどまっている。

### (11) 個別の事柄の満足度



個別の事柄の満足度については、いずれの項目も「満足」が最も多く、4~5割程度となっている。

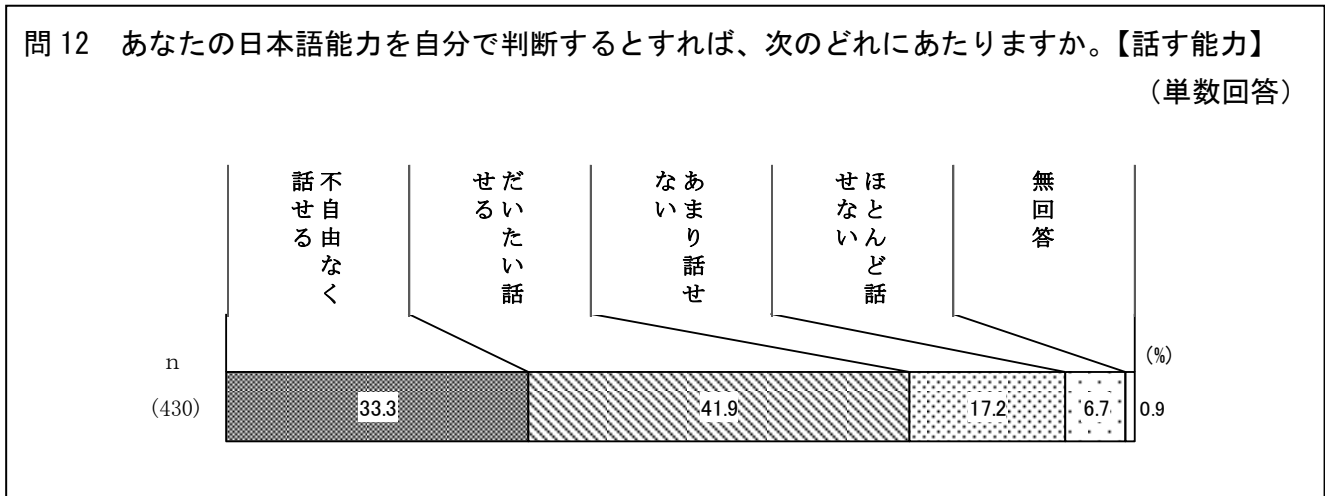
「やや満足」を合わせた《満足》は、『生活情報』『住宅環境』『災害に対する備え』『医療・福祉』で8割を超え、特に『生活情報』では84.4%を占める。

一方、『近所付き合い』については《満足》と回答した人は69.5%とやや少なく、「やや不満」と「不満」を合わせた《不満》と回答した人が13.5%と、ほかの項目よりやや多くなっている。

3. 言語

(12) 日本語能力

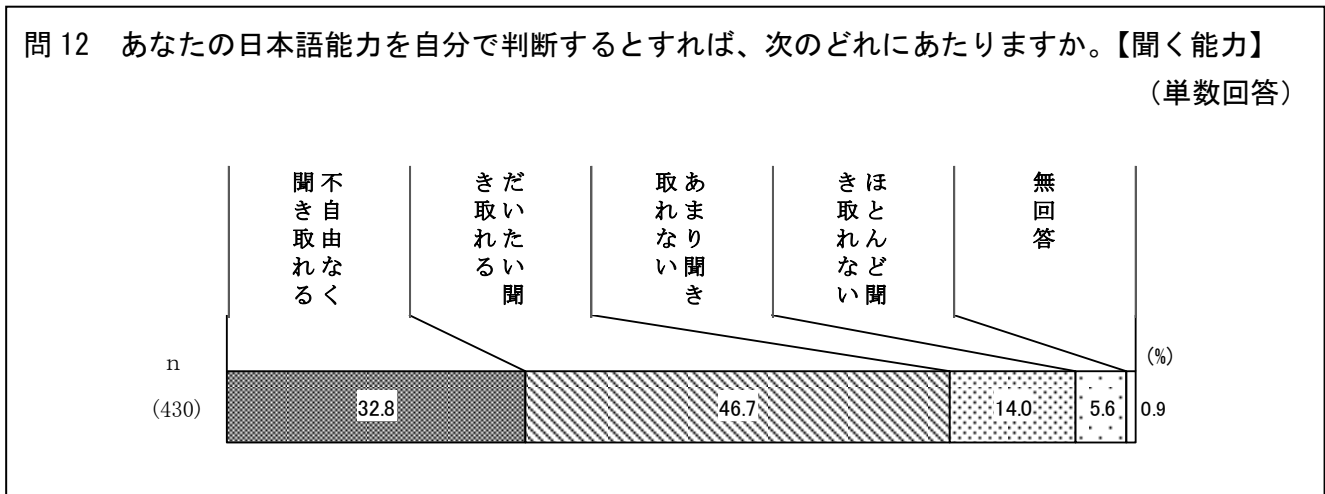
① 話す能力



日本語の話す能力については、「だいたい話せる」が 41.9%と最も多く、「不自由なく話せる」(33.3%) と合わせた《話せる》人はと 75.2%を占める。

一方、「あまり話せない」(17.2%) と「ほとんど話せない」(6.7%) を合わせた《話せない》人は 23.9% となっている。

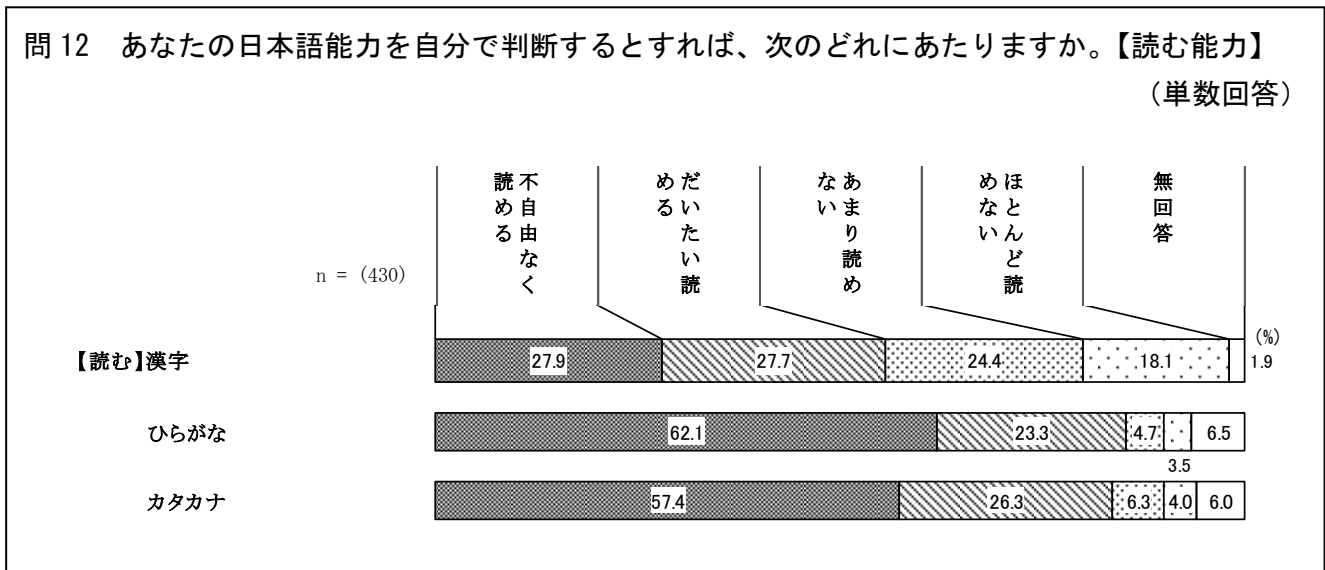
② 聞く能力



日本語の聞く能力については、「だいたい聞き取れる」が 46.7%と最も多く、「不自由なく聞き取れる」(32.8%) と合わせた《聞き取れる》人は 79.5%を占める。

一方、「あまり聞き取れない」(14.0%) と「ほとんど聞き取れない」(5.6%) を合わせた《聞き取れない》人は 19.6%となっている。

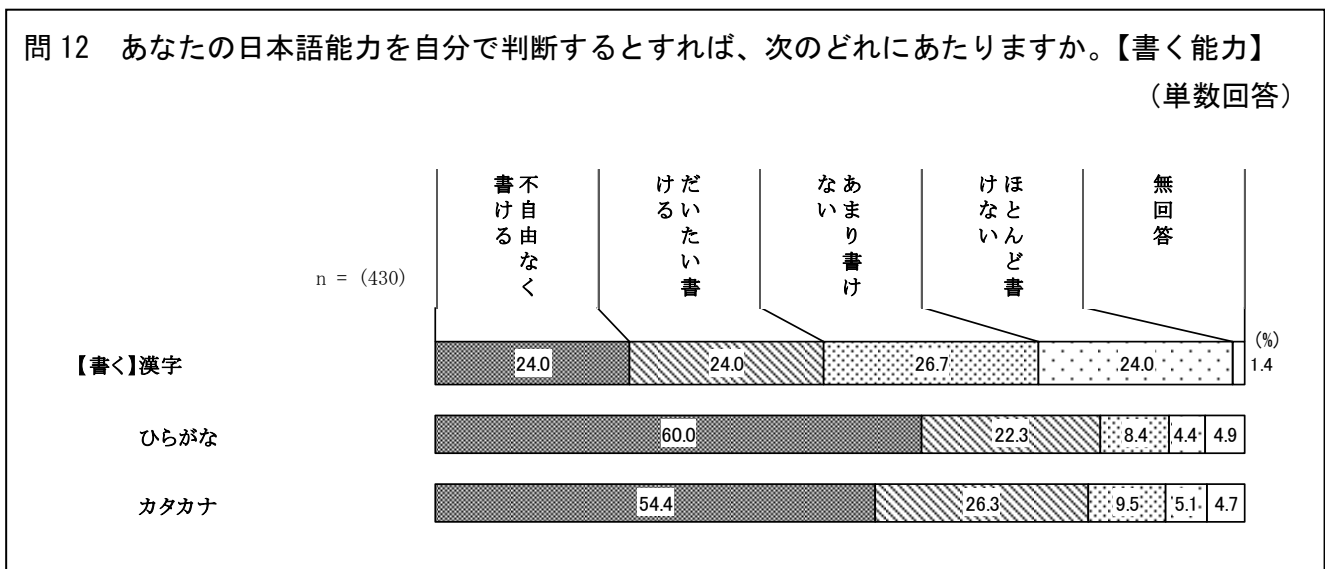
③ 読む能力



日本語の読む能力については、『ひらがな』と『カタカナ』については、「不自由なく読める」が6割前後と最も多く、「だいたい読める」と合わせた《読める》人は8割以上を占める。

一方、『漢字』については、《読める》人は55.6%にとどまり、「あまり読めない」(24.4%)と「ほとんど読めない」(18.1%)を合わせた《読めない》人は42.5%と多い。

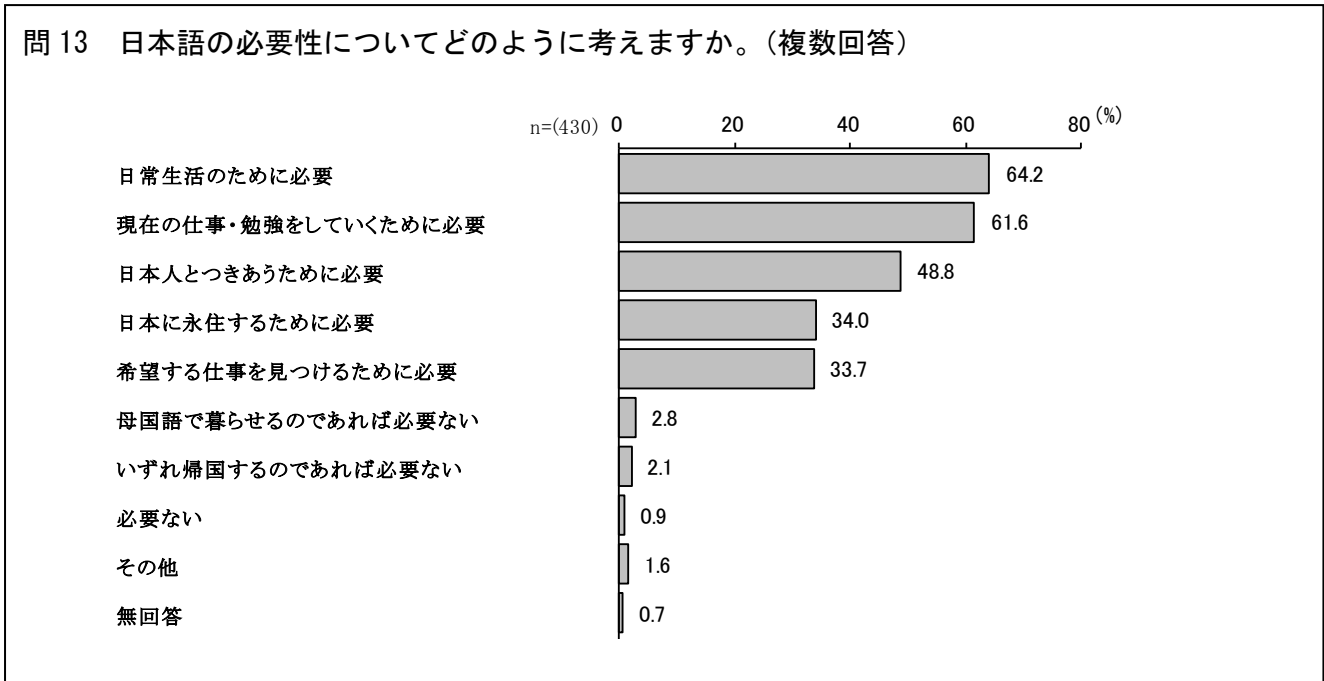
④ 書く能力



日本語の書く能力については、読む能力同様、『ひらがな』と『カタカナ』は、「不自由なく書ける」が6割前後と最も多く、「だいたい書ける」と合わせた《書ける》人は約8割を占める。

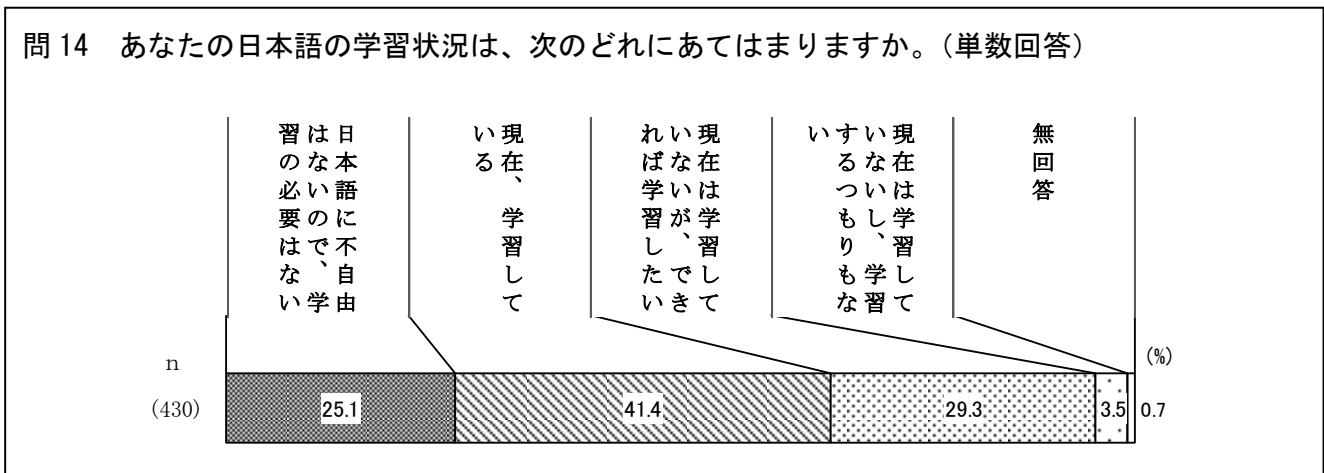
一方、『漢字』については、《書ける》人は48.0%と読む能力より少なく、「あまり書けない」(26.7%)と「ほとんど書けない」(24.0%)を合わせた《書けない》人は50.7%と約半数を占める。

(13) 日本語の必要性



日本語の必要性については、「日常生活のために必要」が64.2%と最も多く、次いで、「現在の仕事・勉強をしていくために必要」も61.6%と多い。以下、「日本人とつきあうために必要」(48.8%)、「日本に永住するために必要」(34.0%)、「希望する仕事を見つけるために必要」(33.7%) などとなっている。

(14) 日本語の学習状況

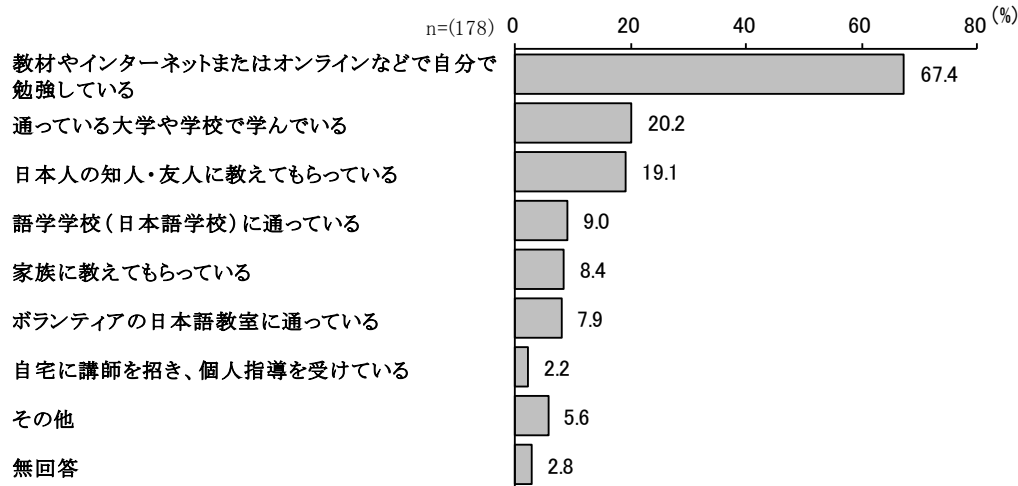


日本語の学習状況については、「現在、学習している」が41.4%と最も多く、以下、「現在は学習していないが、できれば学習したい」(29.3%)、「日本語に不自由はないので、学習の必要はない」(25.1%)、「現在は学習していないし、学習するつもりもない」(3.5%) となっている。

## (15) 日本語の学習方法

問 15 あなたはどのように日本語を学んでいますか。(複数回答)

※問 14 で「2. 現在、学習している」と回答された方が対象

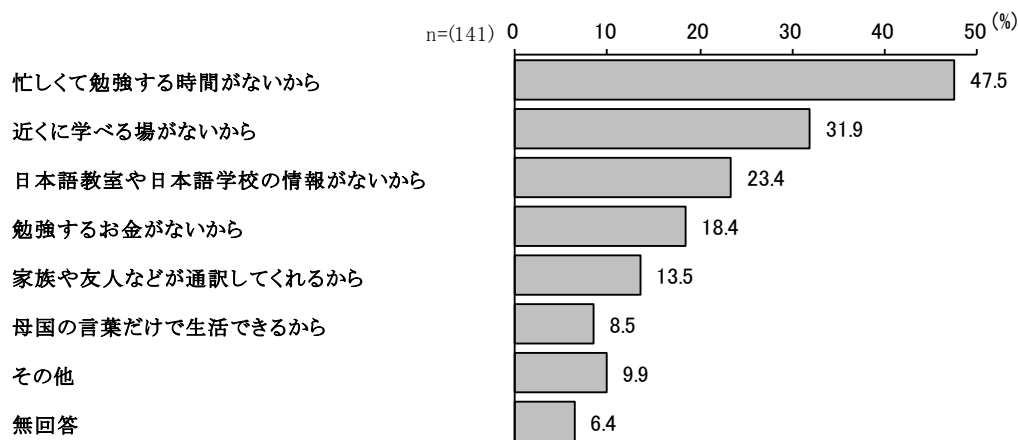


日本語の学習方法については、「教材やインターネットまたはオンラインなどで自分で勉強している」が 67.4%と最も多い。以下、「通っている大学や学校で学んでいる」(20.2%)、「日本人の知人・友人に教えてもらっている」(19.1%)、「語学学校(日本語学校)に通っている」(9.0%) などとなっている。

## (16) 日本語を学習しない理由

問 16 あなたが日本語を学ばない、学んでいない理由は何ですか。(複数回答)

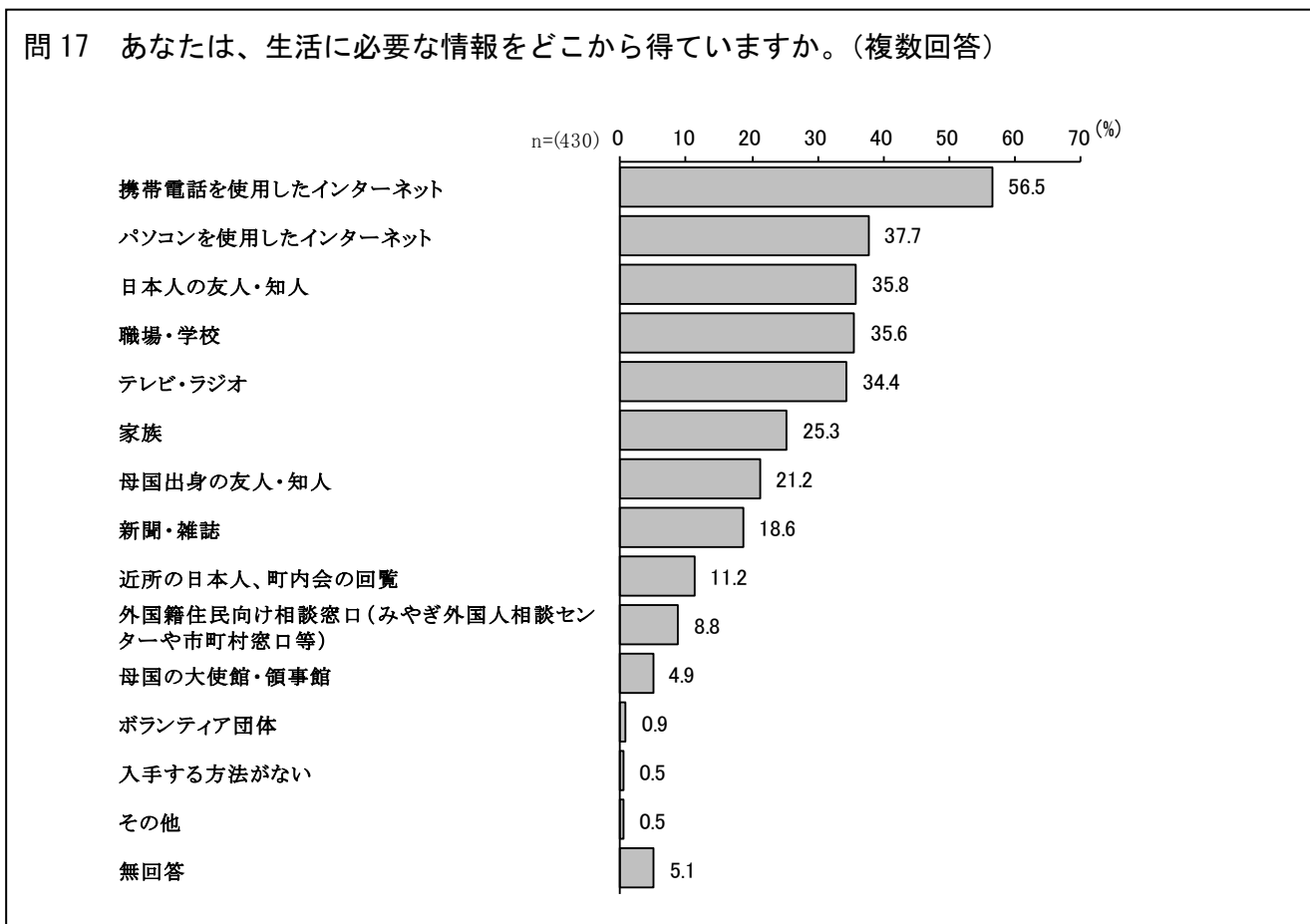
※問 14 で「3. 現在は学習していないが、できれば学習したい」または「4. 現在は学習していないし、学習するつもりもない」と回答された方が対象



日本語を学習しない理由については、「忙しくて勉強する時間がないから」が 47.5%と最も多く、以下、「近くに学べる場がないから」(31.9%)、「日本語教室や日本語学校の情報がないから」(23.4%)、「勉強するお金がないから」(18.4%) などとなっている。

4. 情報

(17) 生活に必要な情報の入手先

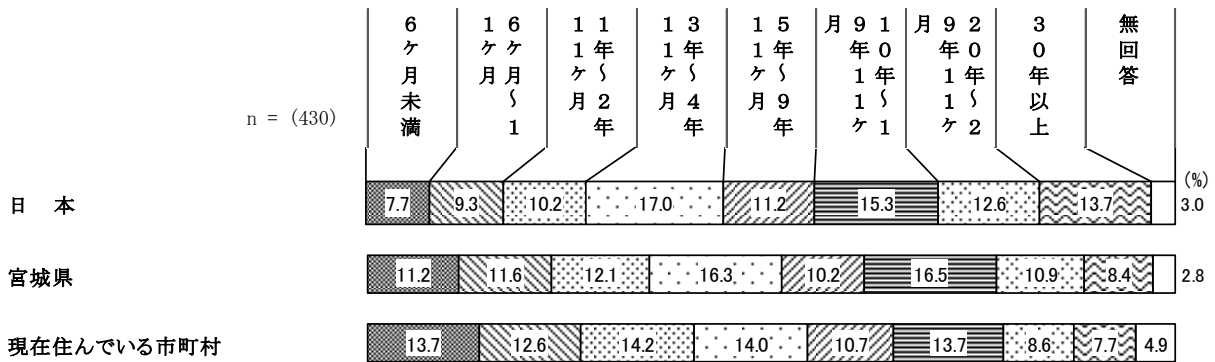


生活に必要な情報の入手先については、「携帯電話を使用したインターネット」が56.5%と最も多く、以下、「パソコンを使用したインターネット」(37.7%)、「日本人の友人・知人」(35.8%)、「職場・学校」(35.6%)、「テレビ・ラジオ」(34.4%) などとなっている。

## 5. 居住

### (18) 居住年数

問 18 あなたは、通算して日本にどのくらい住んでいますか。また、宮城県、現在住んでいる市町村には、通算して何年間住んでいますか。(単数回答)



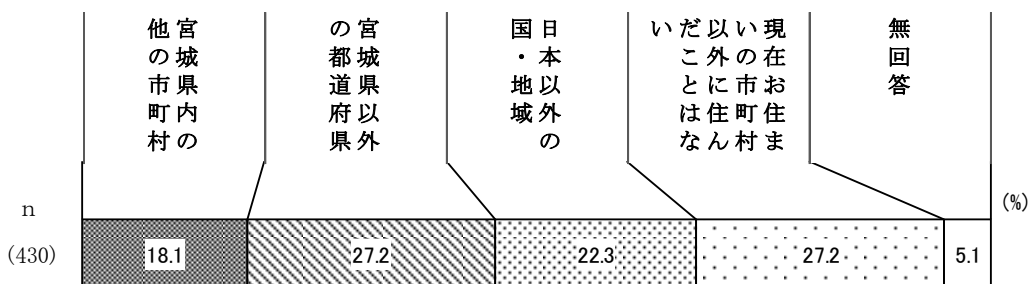
居住年数については、『日本』では、『10年以上』が41.6%と多く、『3年未満』と『3～10年未満』は約3割となっている。

『宮城県』では、『3年未満』と『10年以上』が3割半ばと多く、『3～10年未満』は26.5%となっている。

『現在住んでいる市町村』では、『3年未満』が40.5%と多く、『10年以上』は30.0%、『3～10年未満』は24.7%となっている。

### (19) 以前の居住地

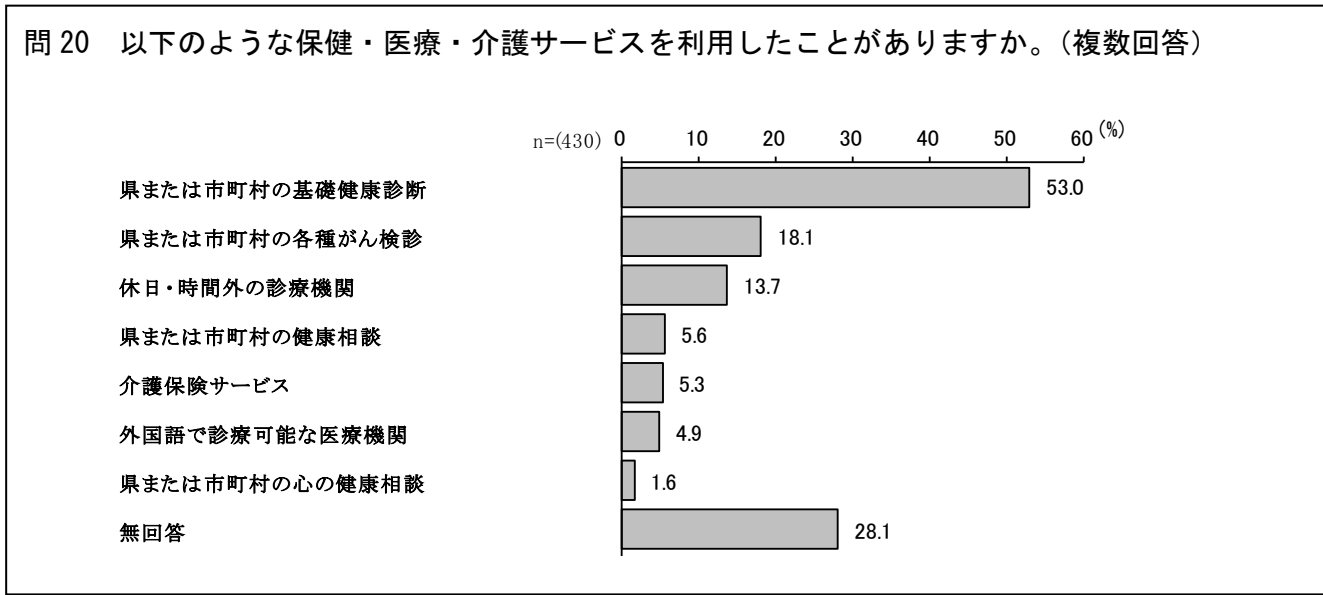
問 19 あなたは現在住んでいる市町村の前はどこに住んでいましたか。(単数回答)



以前の居住地については、「宮城県以外の都道府県」「現在お住まいの市町村以外に住んだことはない」がともに27.2%と多く、以下、「日本以外の国・地域」(22.3%)、「宮城県内の他の市町村」(18.1%)となっている。

6. 医療・福祉

(20) 保健・医療・介護サービスの利用経験

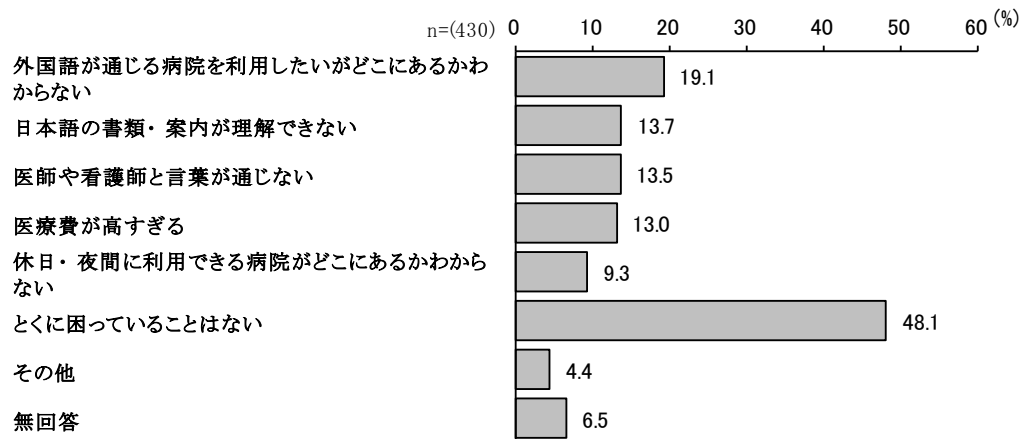


保健・医療・介護サービスの利用経験については、「県または市町村の基礎健康診断」が 53.0%と最も多く、以下、「県または市町村の各種がん検診」(18.1%)、「休日・時間外の診療機関」(13.7%) などとなっている。



## (21) 病院で困った経験

問 21 あなたが病気になって病院に行くときに困ったことはありますか。(複数回答)

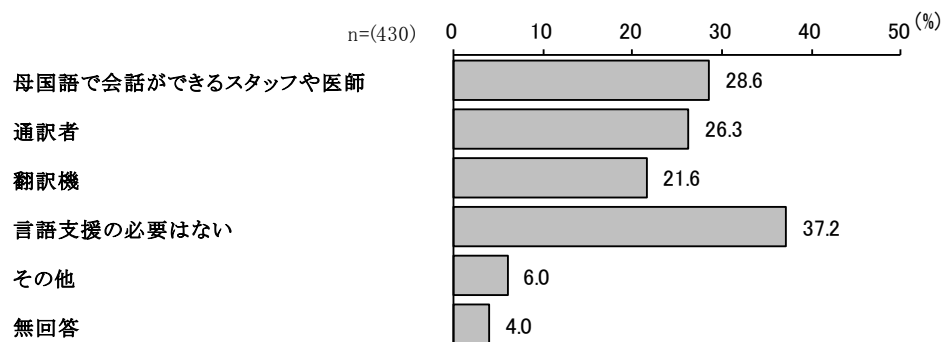


病院での困ったことの経験については、「外国語が通じる病院を利用したいがどこにあるかわからない」が19.1%と最も多く、以下、「日本語の書類・案内が理解できない」(13.7%)、「医師や看護師と言葉が通じない」(13.5%)、「医療費が高すぎる」(13.0%)などとなっている。

一方、約半数は「とくに困っていることはない」と回答している。

## (22) 病院に求める言語支援

問 22 あなたが病気になって病院に行くとき、どのような言語支援があると良いと思いますか。(複数回答)



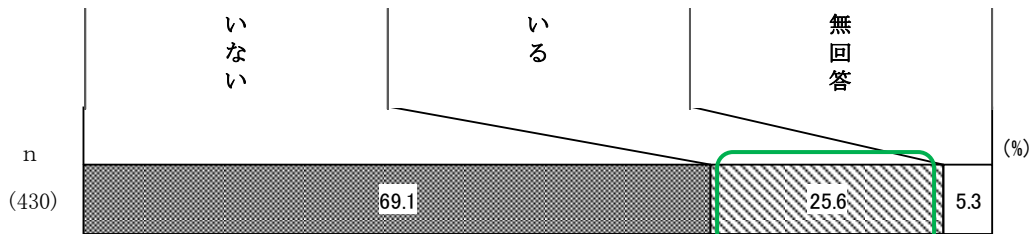
病院に求める言語支援については、「母国語で会話ができるスタッフや医師」が28.6%、「通訳者」が26.3%、「翻訳機」が21.6%となっている。

一方、「言語支援の必要はない」は37.2%となっている。

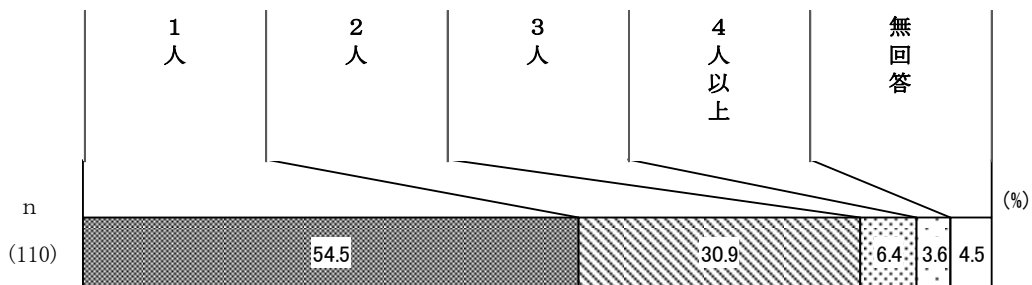
7. 育児・教育

(23) 18歳未満の子どもの有無・年齢

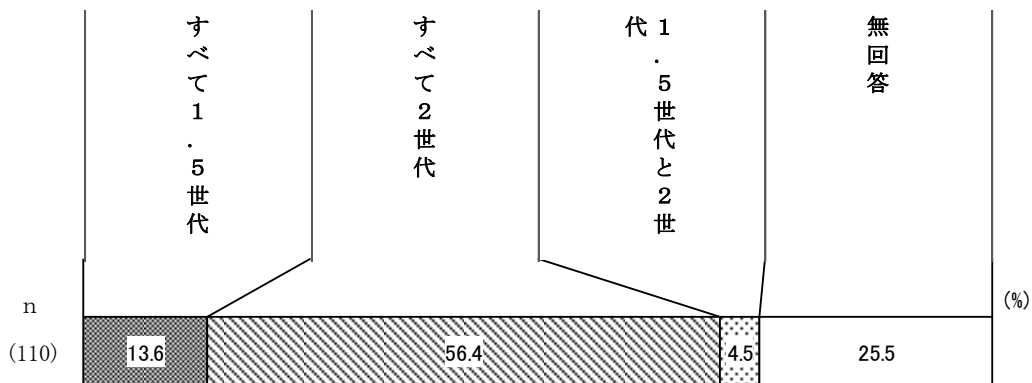
問23 あなたには現在、18歳未満のお子さんがいますか。(単数回答)



【子どもの人数】



【子どもの世代構成】

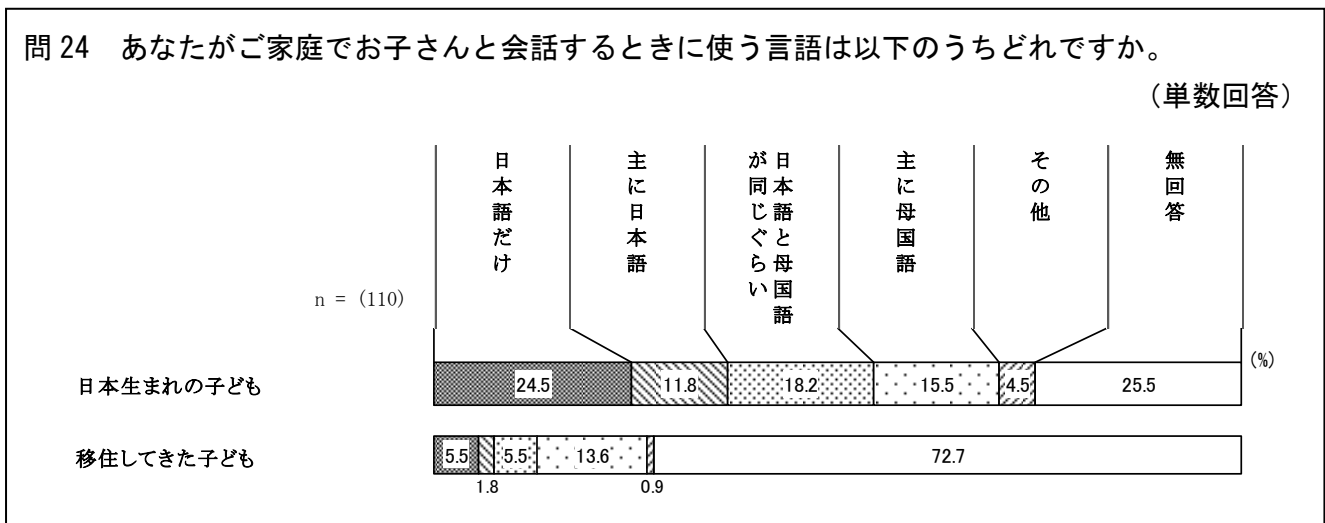


18歳未満の子どもの有無については、「いない」が69.1%と、「いる」(25.6%)を大きく上回っている。

子どもが「いる」人の、子どもの人数については、「1人」が54.5%と最も多く、「2人」が30.9%、「3人」が6.4%となっている。

子どもの世代構成は、子どもすべてが日本生まれである「すべて2世代」が56.4%と最も多く、子どもすべてが日本に移住してきた「すべて1.5世代」は13.6%、日本生まれと移住してきた子どもが両方いる「1.5世代と2世代」は4.5%となっている。

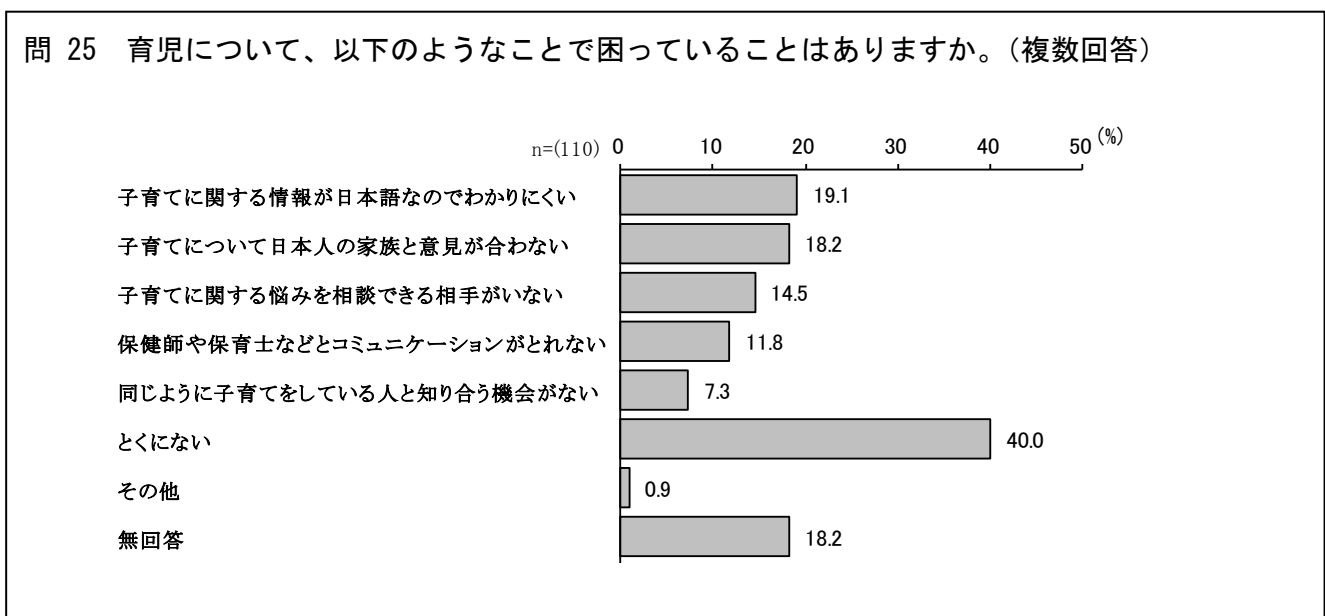
(24) 子どもと会話する言語



子どもと会話する言語については、『日本生まれの子ども』では、「日本語だけ」が 24.5%と最も多く、以下、「日本語と母国語が同じぐらい」(18.2%)、「主に母国語」(15.5%)、「主に日本語」(11.8%)となっている。

『移住してきた子ども』では、「主に母国語」が 13.6%と最も多く、以下、「日本語だけ」「日本語と母国語が同じぐらい」(ともに 5.5%)、「主に日本語」(1.8%)は 1 割未満にとどまっている。

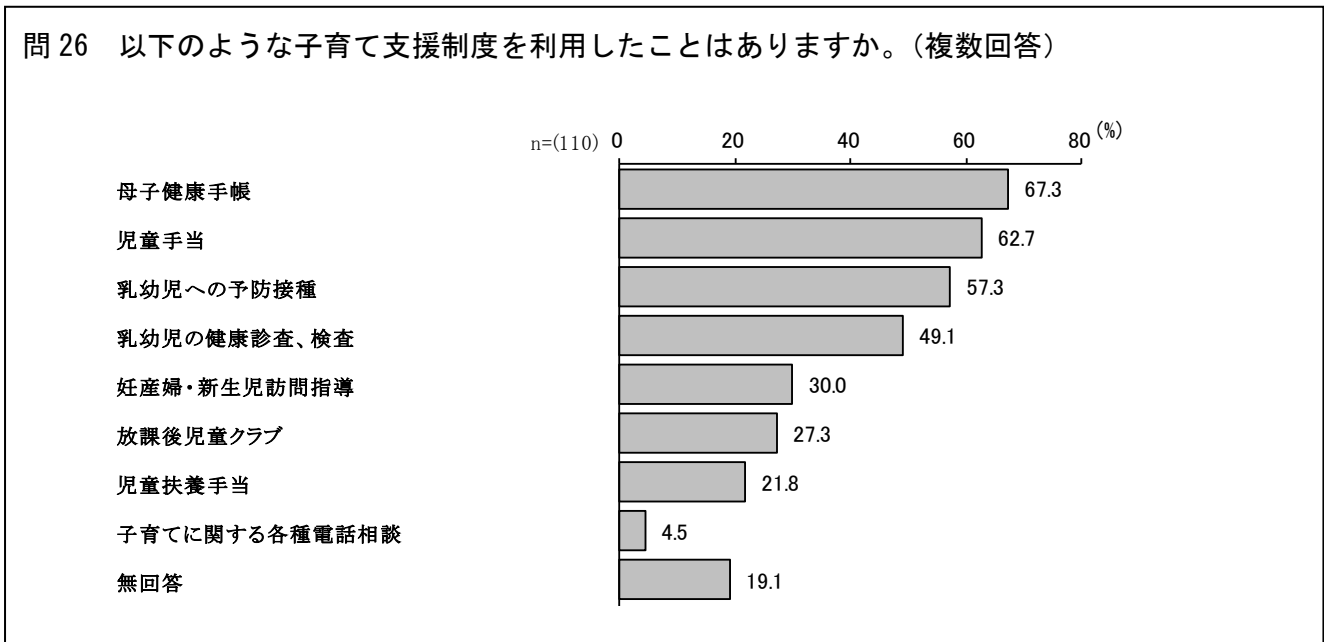
(25) 育児で困っていること



育児で困っていることについては、「子育てに関する情報が日本語なのでわかりにくい」が 19.1%と最も多く、以下、「子育てについて日本人の家族と意見が合わない」(18.2%)、「子育てに関する悩みを相談できる相手がいない」(14.5%)、「保健師や保育士などとコミュニケーションがとれない」(11.8%)などとなっている。

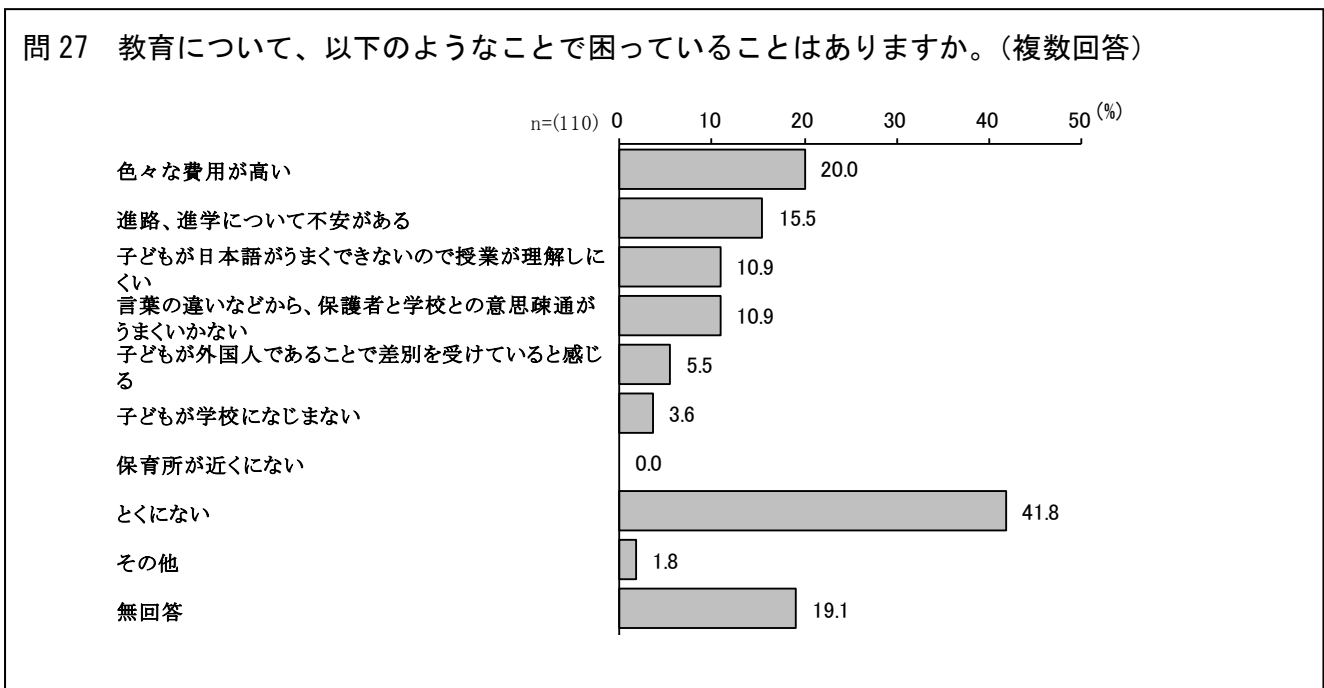
一方、「とくにない」は 40.0%となっている。

(26) 子育て支援制度の利用経験



子育て支援制度の利用経験については、「母子健康手帳」が 67.3%と最も多く、以下、「児童手当」(62.7%)、「乳幼児への予防接種」(57.3%)、「乳幼児の健康診査、検査」(49.1%) などとなっている。

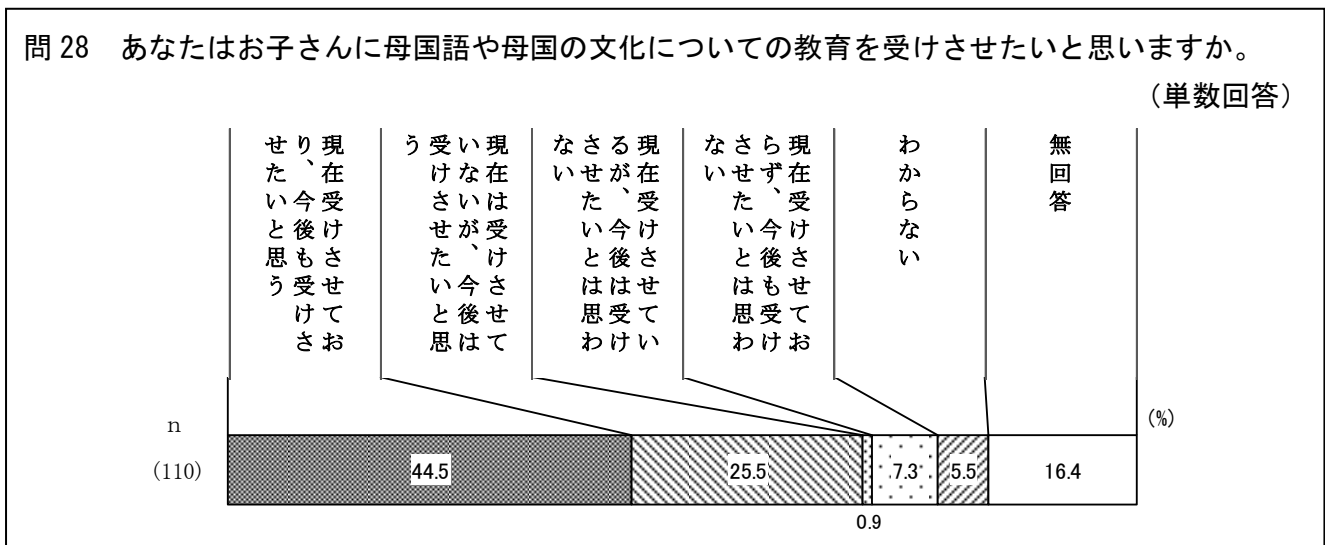
(27) 教育で困っていること



教育で困っていることについては、「色々の費用が高い」が 20.0%と最も多く、以下、「進路、進学について不安がある」(15.5%)、「子どもが日本語がうまくできないので授業が理解しにくい」「言葉の違いなどから、保護者と学校との意思疎通がうまくいかない」(ともに 10.9%) などとなっている。

一方、「とくにない」は 41.8%となっている。

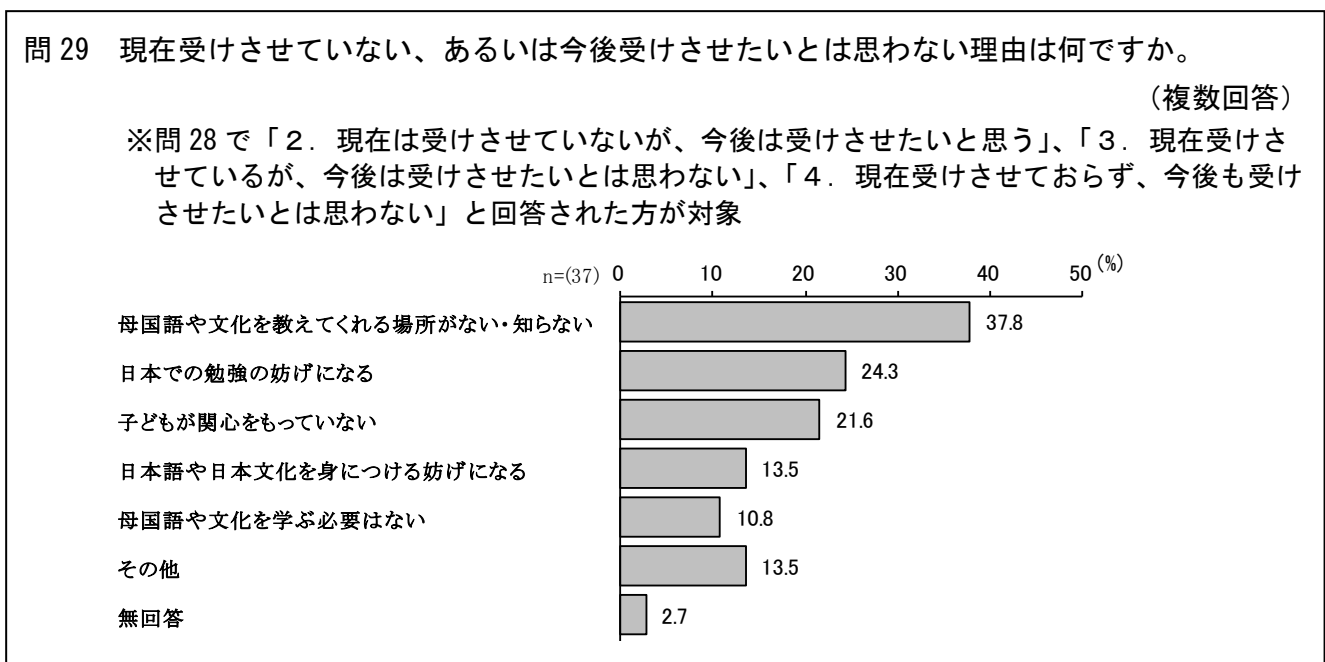
(28) 母国語・母国文化の教育



母国語・母国文化の教育については、「現在受けさせており、今後も受けさせたいと思う」が 44.5%と最も多く、以下、「現在は受けさせていないが、今後は受けさせたいと思う」(25.5%)を合わせた《受けさせたい》は 70.0%を占める。

一方、「現在受けさせておらず、今後も受けさせたいとは思わない」は 7.3%、「現在受けさせているが、今後は受けさせたいとは思わない」は 0.9%である。

(29) 母国語・母国文化の教育をしていない理由

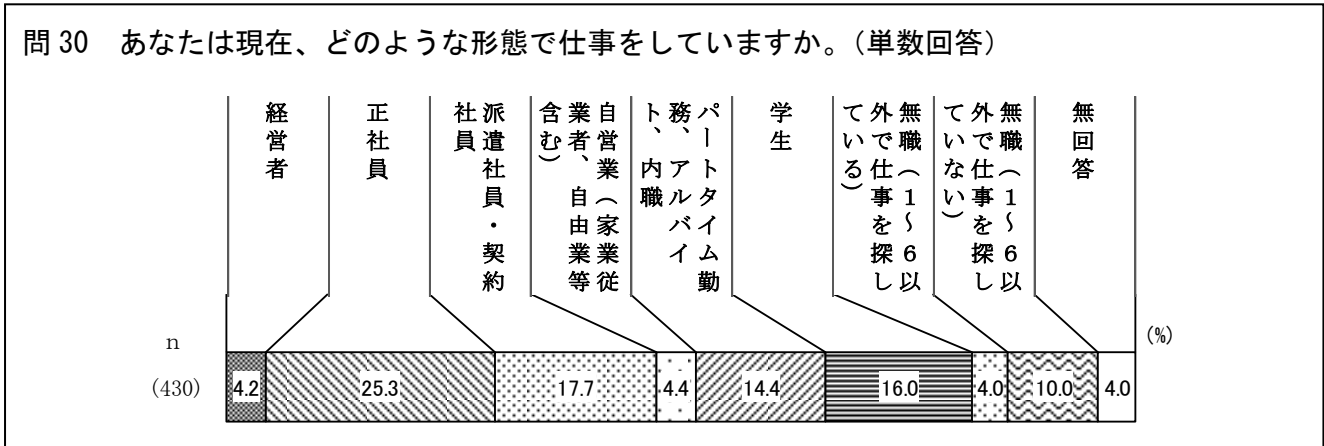


母国語・母国文化の教育を受けさせない理由については、「母国語や文化を教えてくれる場所がない・知らない」が 37.8%と最も多く、以下、「日本での勉強の妨げになる」(24.3%)、「子どもが関心をもっていない」(21.6%)、「日本語や日本文化を身につける妨げになる」(13.5%) などとなっている。

一方、「母国語や文化を学ぶ必要はない」は 10.8%となっている。

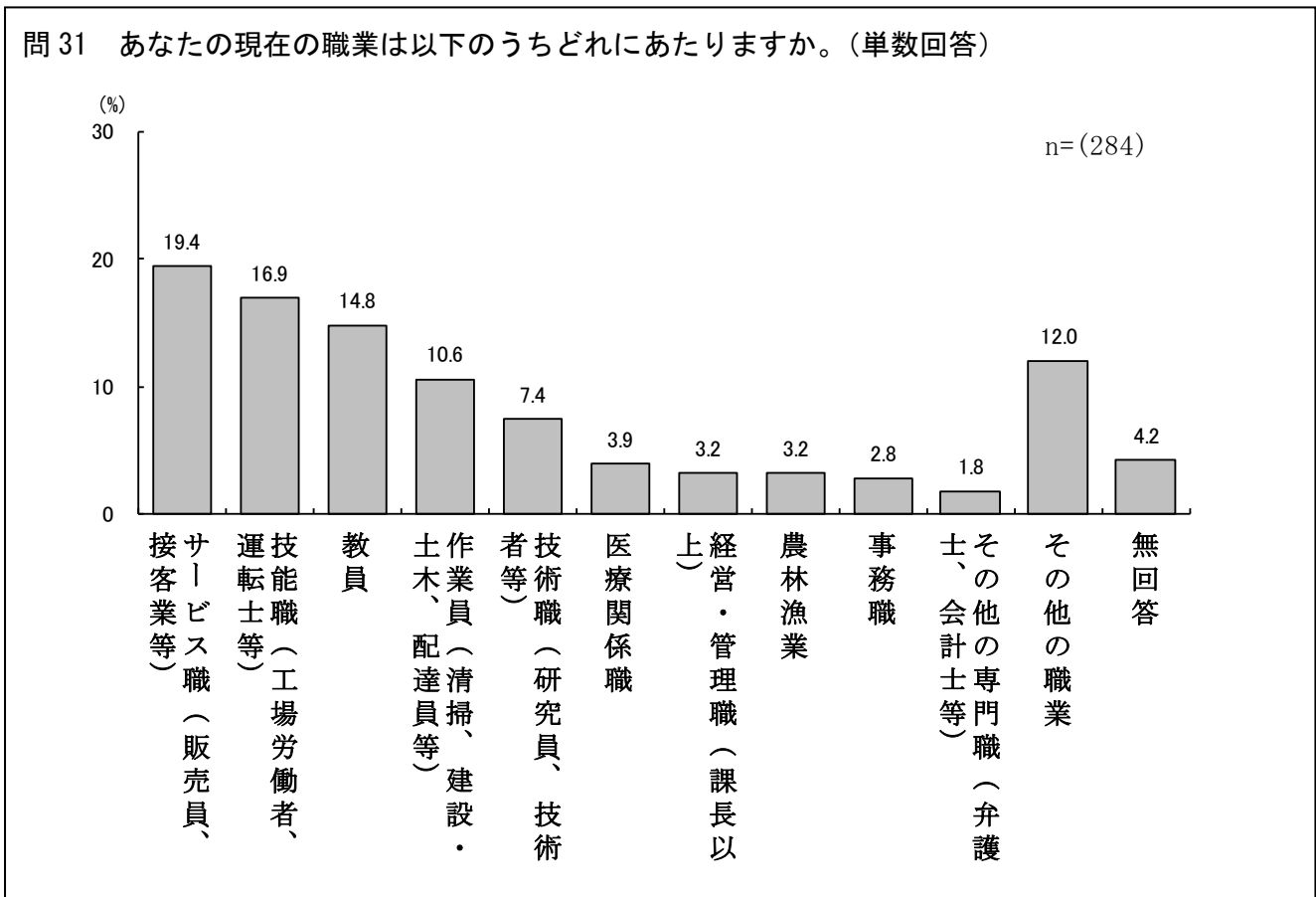
8. 労働

(30) 現在の雇用形態



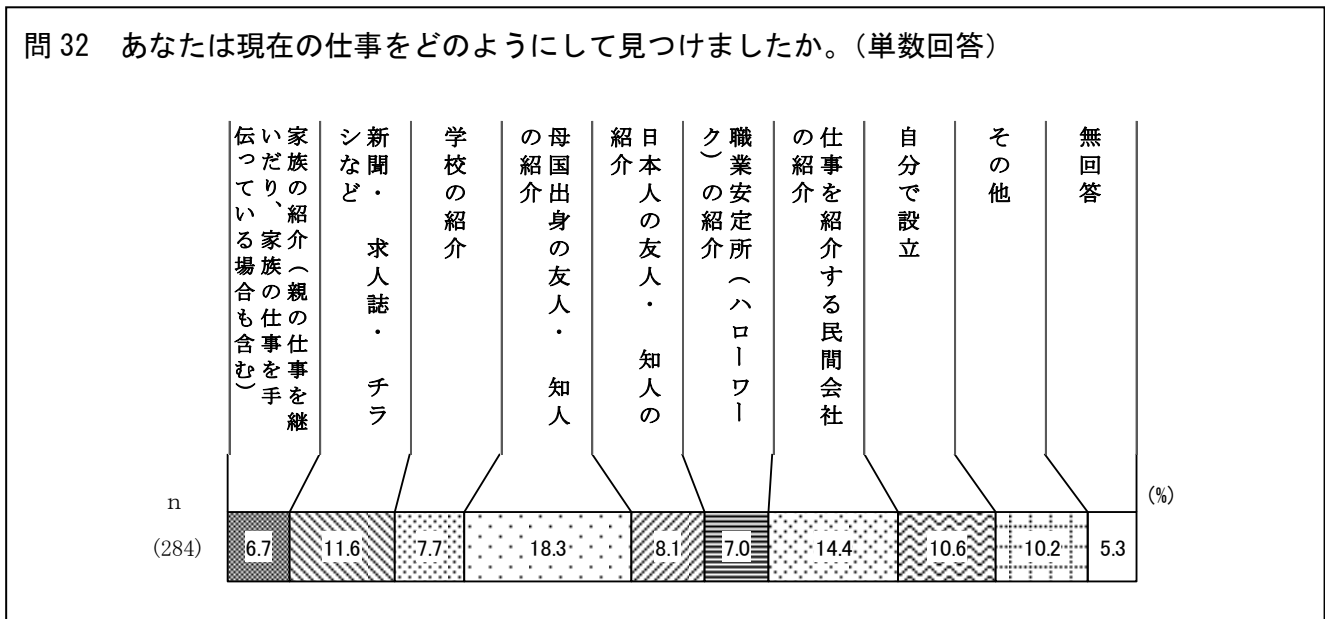
現在の雇用形態については、「正社員」が25.3%と最も多く、以下、「派遣社員・契約社員」(17.7%)、「学生」(16.0%)、「パートタイム勤務、アルバイト、内職」(14.4%) などとなっている。

(31) 現在の職業



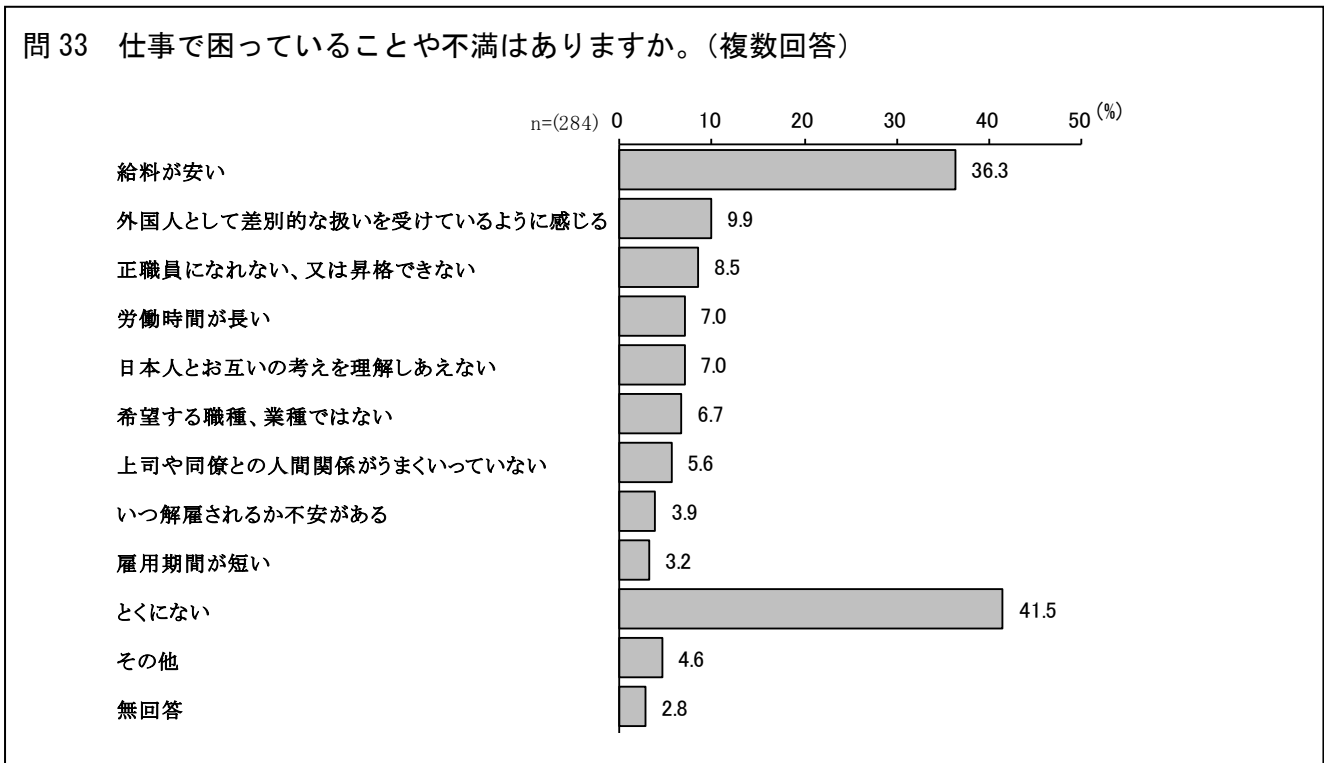
現在の職業については、「サービス職(販売員、接客業等)」が19.4%と最も多く、以下、「技能職(工場労働者、運転士等)」(16.9%)、「教員」(14.8%)、「作業員(清掃、建設・土木、配達員等)」(10.6%) などとなっている。

(32) 現在の仕事の見つけ方



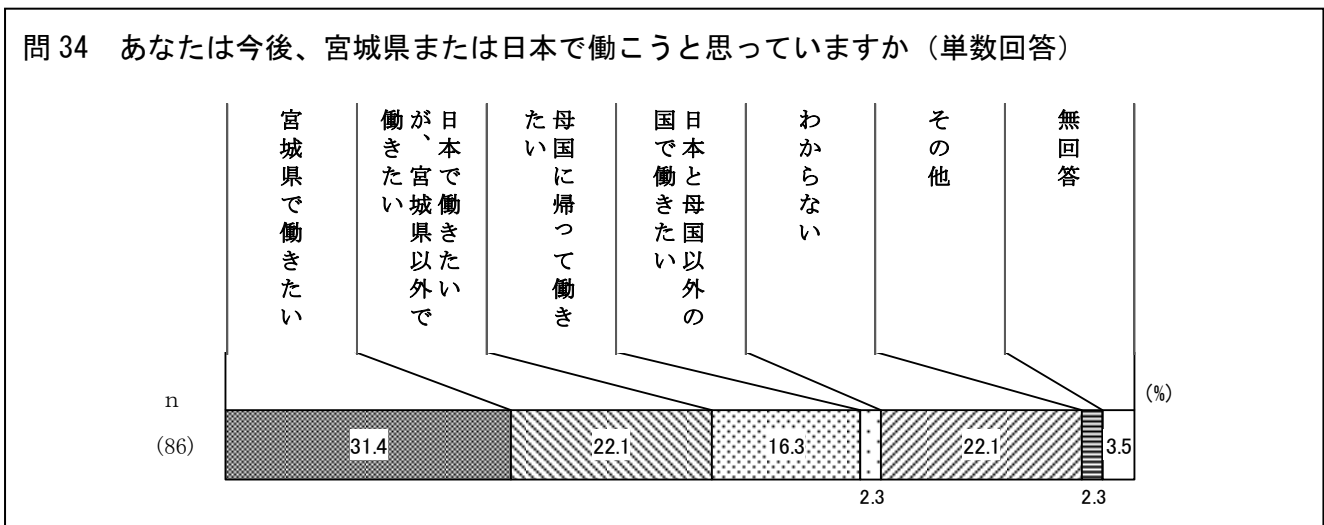
現在の仕事の見つけ方については、「母国出身の友人・知人の紹介」が 18.3%と最も多く、以下、「仕事を紹介する民間会社の紹介」(14.4%)、「新聞・求人誌・チラシなど」(11.6%)、「自分で設立」(10.6%) などとなっている。

(33) 仕事上の困りごと・不満



仕事上の困りごと・不満については、「給料が安い」が36.3%と最も多く、以下、「外国人として差別的な扱いを受けているように感じる」(9.9%)、「正職員になれない、又は昇格できない」(8.5%) などとなっている。一方、「とくにない」は41.5%となっている。

(34) 今後の勤務地



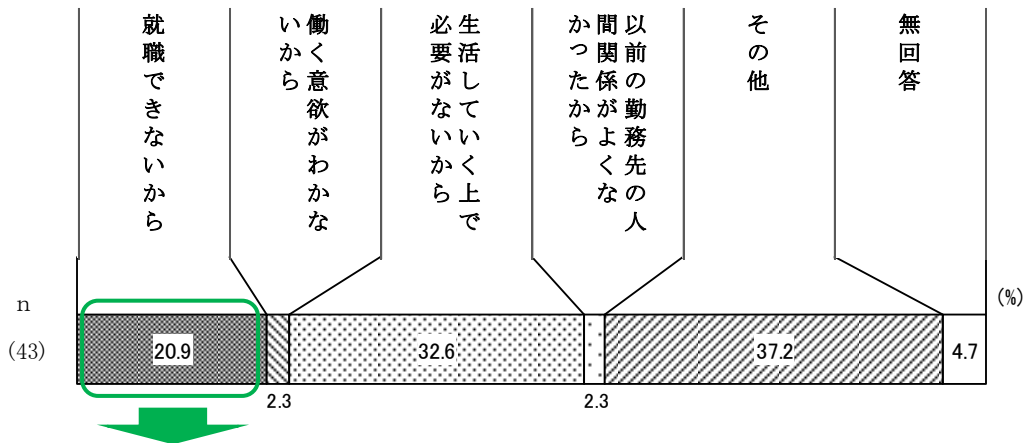
今後の勤務地については、「宮城県で働きたい」が31.4%と最も多く、次いで多い、「日本で働きたいが、宮城県以外で働きたい」(22.1%)と合わせると、「日本で働きたい」人は53.5%となっている。一方、「母国に帰って働きたい」は16.3%、「わからない」と回答した不特定層は22.1%となっている。



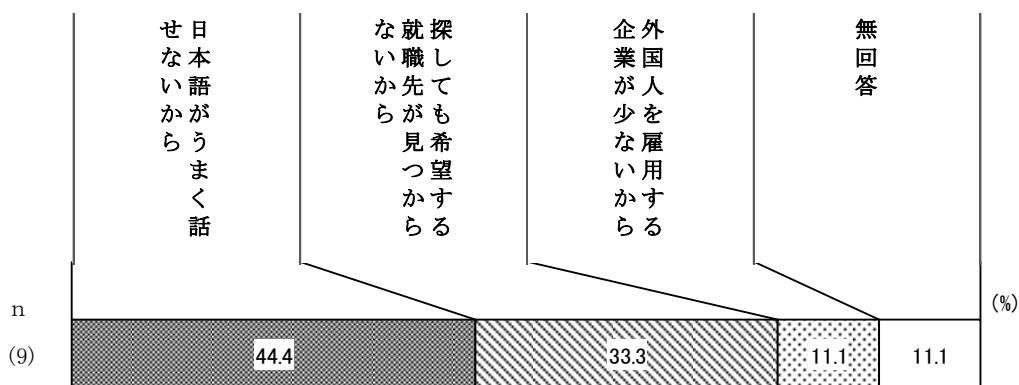
(35) 仕事を探していない理由

問 35 仕事を探していない理由は何ですか。(単数回答)

※問 30 で「8. 無職 (1～6 以外で仕事を探していない)」と回答された方が対象



【就職できない理由】



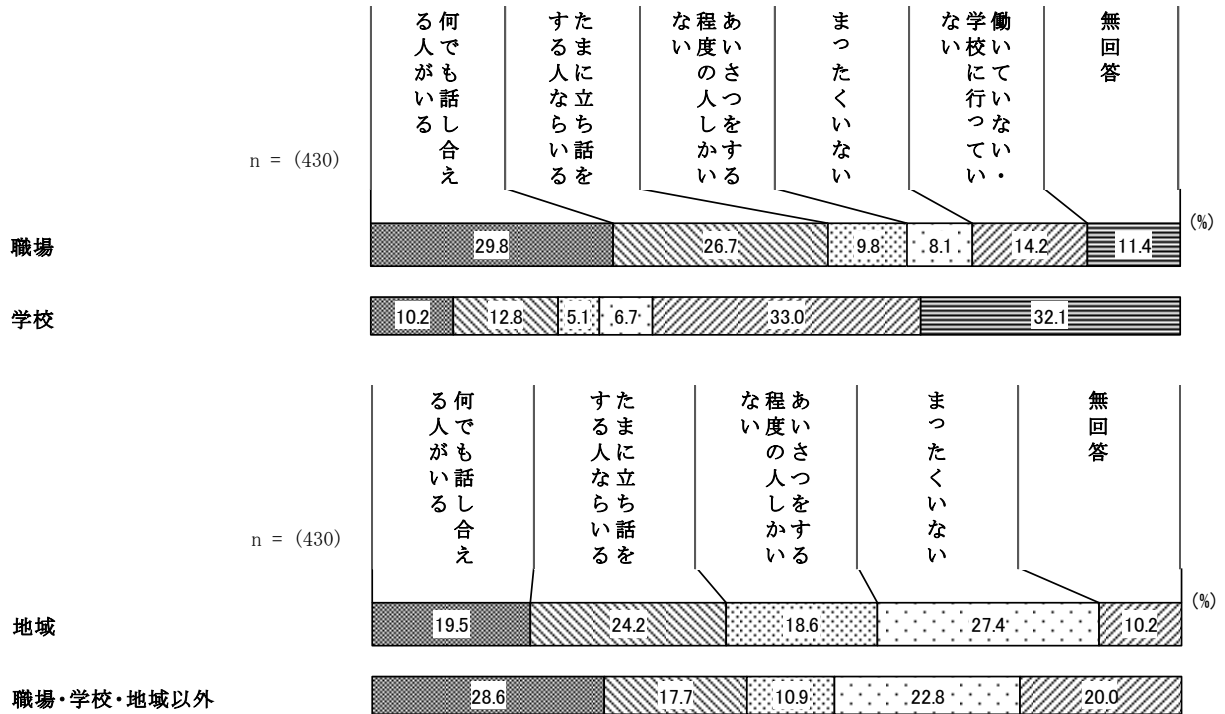
仕事を探していない理由については、「生活していく上で必要がないから」が 32.6%と多いものの、「就職できないから」は 20.9%となっている。

就職できない理由については、「日本語がうまく話せないから」が 44.4%と最も多く、以下、「探しても希望する就職先が見つからないから」(33.3%)、「外国人を雇用する企業が少ないから」(11.1%)となっている。

9. 社会生活一般

(36) 日本人との付き合い

問 36 現在、あなたには、仲良くしている日本人はいますか。(単数回答)



日本人との付き合いについては、『職場』では、「何でも話し合える人がいる」が 29.8%と最も多く、以下、「たまに立ち話をする人ならいる」が 26.7%となっている。

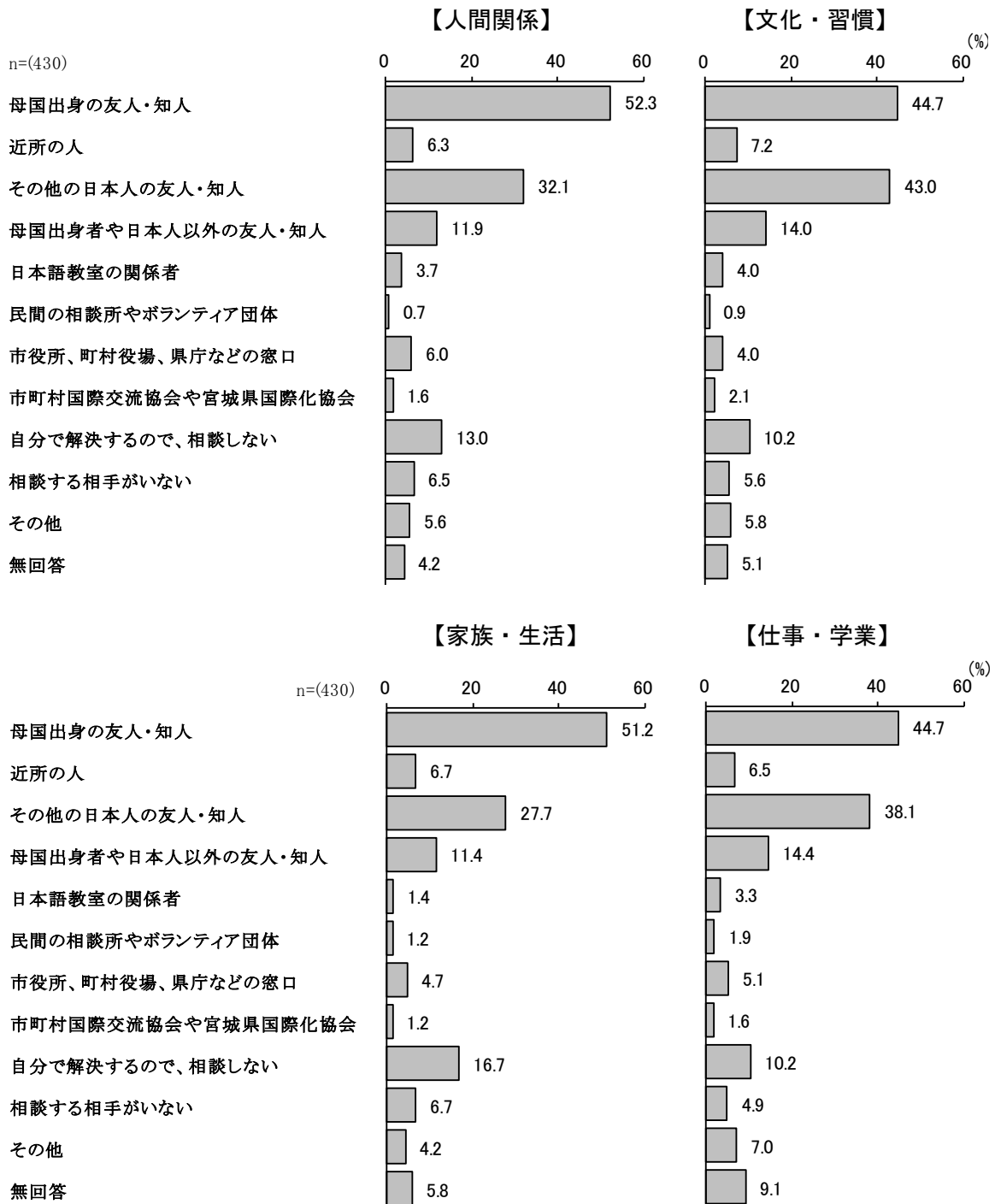
『学校』では、「学校に行っていない」が 33.0%と最も多くなっている。「何でも話し合える人がいる」(10.2%) や「たまに立ち話をする人ならいる」(12.8%) は約 1 割にとどまっている。

『地域』では、「まったくくない」が 27.4%と、他の項目よりも多くなっている。また、「何でも話し合える人がいる」は『職場』『職場・学校・地域以外』より少なく 19.5%にとどまり、「あいさつをする程度の人しかいない」が 18.6%と他の項目より多い。

『職場・学校・地域以外』では、「何でも話し合える人がいる」が 28.6%と最も多いものの、「まったくくない」が 22.8%と次いで多くなっている。

(37) 相談相手

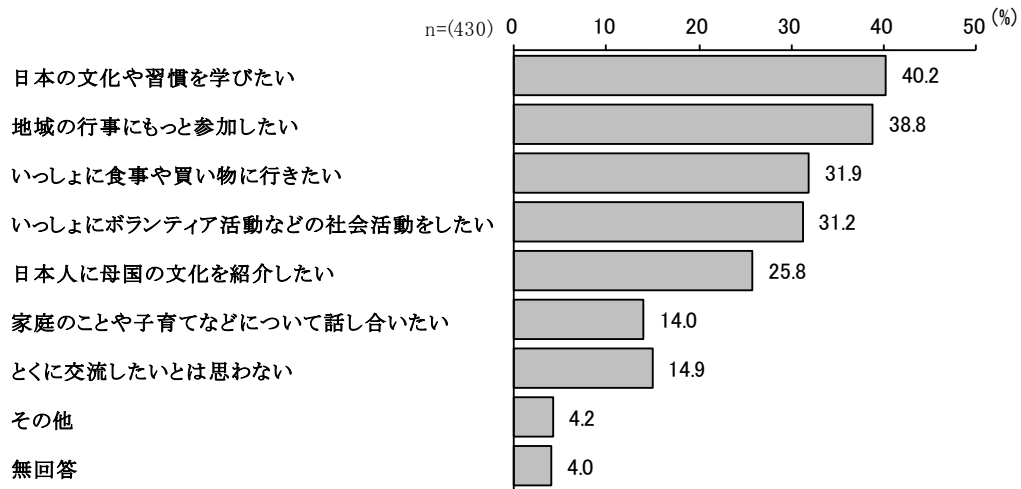
問 37 あなたには、次のようなことで悩んだり困ったりした場合、家族や親戚以外で、誰にまたはどこに相談しようと思いますか。(複数回答)



相談相手については、いずれの項目も概ね同傾向で、最も多いのが「母国出身の友人・知人」で、以下、「その他の日本人の友人・知人」、「母国出身者や日本人以外の友人・知人」などとなっている。特に『人間関係』『家族・生活』の2項目では「母国出身の友人・知人」が約半数を占め、『文化・習慣』『仕事・学業』では「その他の日本人の友人・知人」が4割前後と多くなっている。

(38) 日本人との交流希望

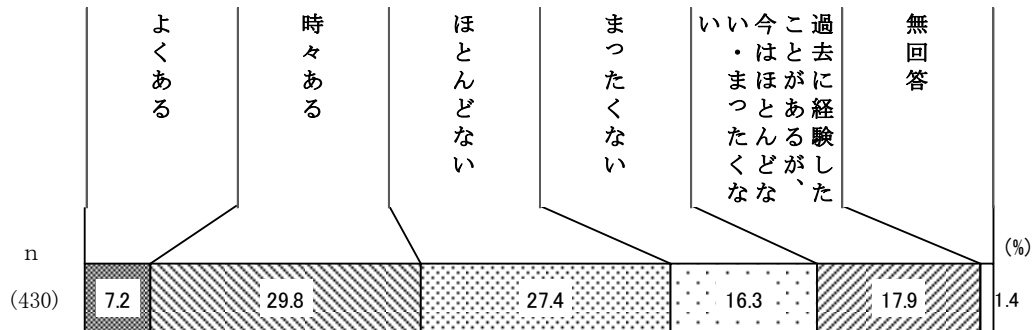
問 38 あなたは今後、地域の日本人とどのような交流をしたいと思いますか。(複数回答)



日本人との交流希望については、「日本の文化や習慣を学びたい」が40.2%と最も多く、次いで、「地域の行事にもっと参加したい」も38.8%と多くなっている。以下、「いっしょに食事や買い物に行きたい」(31.9%)、「いっしょにボランティア活動などの社会活動をしたい」(31.2%) などとなっている。

(39) 差別経験

問 39 あなたは生活上、外国人だということでのいやな経験やつらい思いをした（している）ことがありますか。（単数回答）



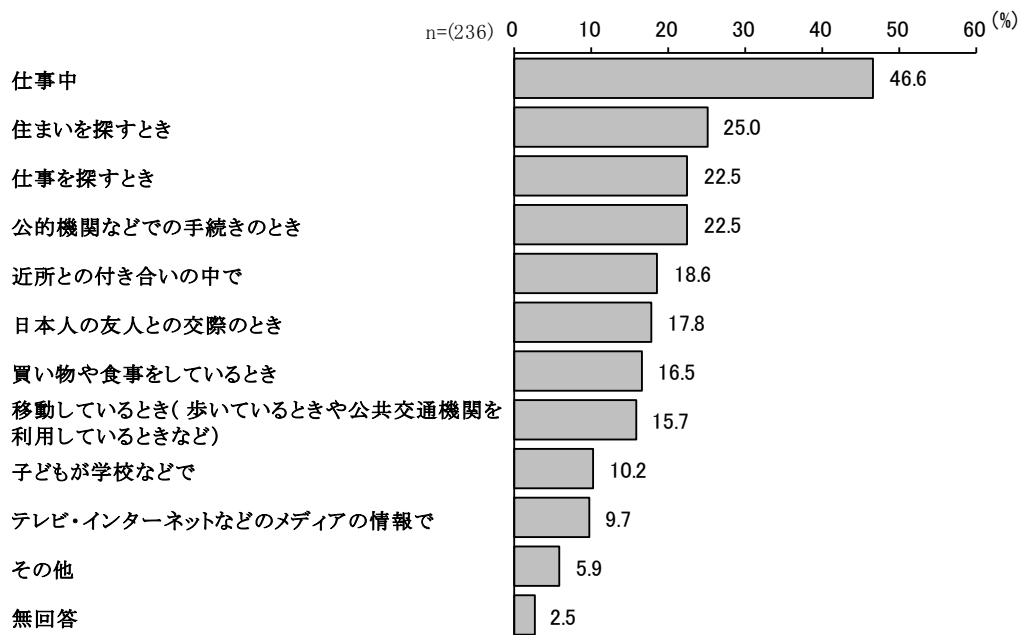
差別経験については、「時々ある」が29.8%と最も多く、「よくある」(7.2%)と合わせた《ある》は37.0%となっている。

一方、「ほとんどない」(27.4%)と「まったくない」(16.3%)と合わせた《ない》は43.7%で、「過去に経験したことがあるが、今はほとんどない・まったくない」は17.9%となっている。

(40) いやな経験、つらい思いの具体的内容

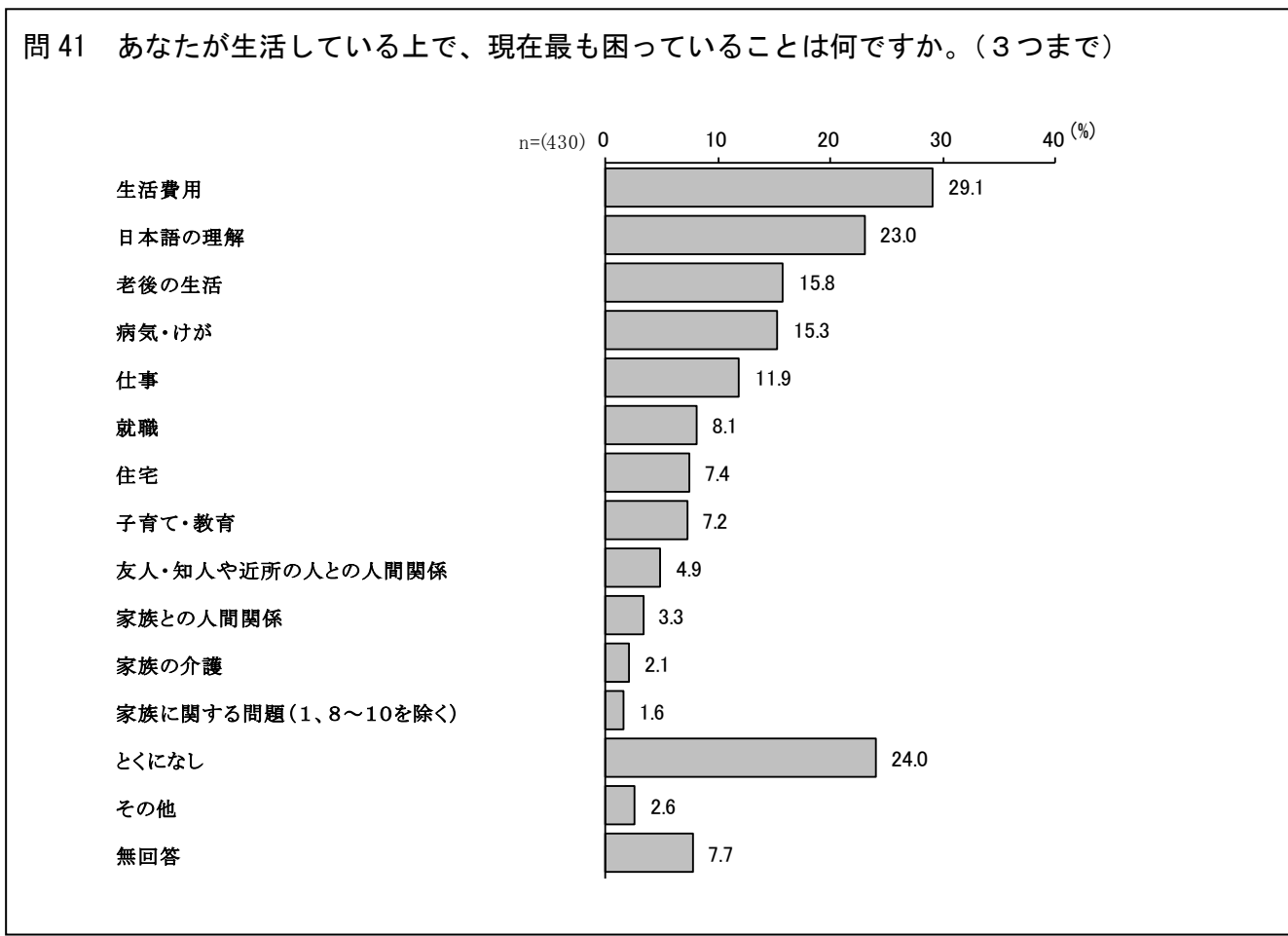
問 40 それほどのようなときに感じましたか。（複数回答）

※問 40 で「1. よくある」「2. 時々ある」「5. 過去に経験したことがあるが、今はほとんどない・まったくない」と回答された方が対象



いやな経験、つらい思いの具体的内容については、「仕事中」が46.6%と最も多く、以下、「住まいを探すとき」(25.0%)、「仕事を探すとき」「公的機関などでの手続きのとき」(ともに22.5%) などとなっている。

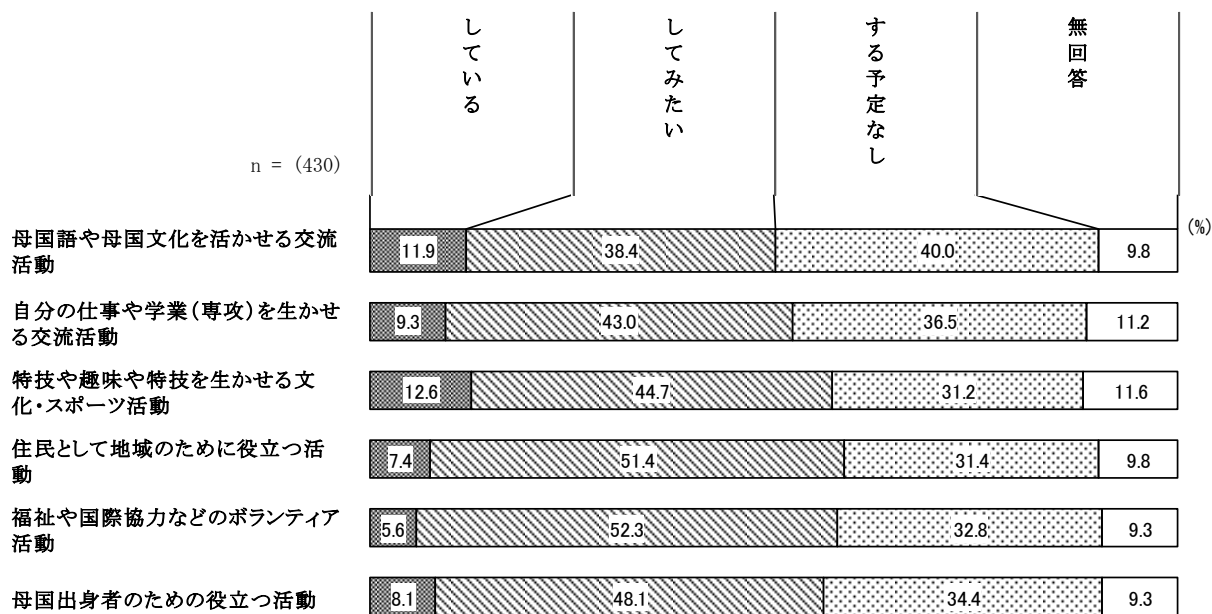
(41) 現在困っていること



現在困っていることについては、「生活費用」が 29.1%と最も多く、以下、「日本語の理解」(23.0%)、「老後の生活」(15.8%)、「病気・けが」(15.3%)、「仕事」(11.9%) などとなっている。

(42) 社会活動

問 42 あなたは、仕事や学業以外で何らかの社会活動をしていますか。またはどのように考えていますか。(単数回答)



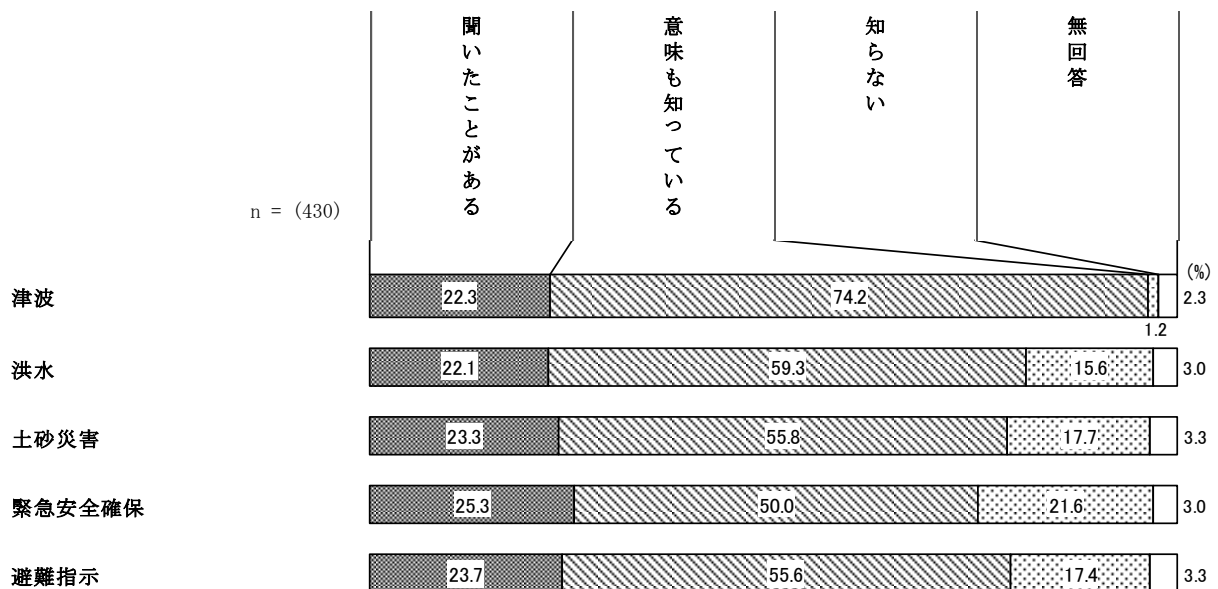
社会活動への参加については、いずれの項目も「している」は1割程度にとどまっているが、4~5割が「してみたい」と回答している。特に参加の意向が高いのは、『住民として地域のために役立つ活動』『福祉や国際協力などのボランティア活動』の2項目で約半数を占める。

一方、「する予定なし」が多い項目は、『母国語や母国文化を活かせる交流活動』(40.0%)や『自分の仕事や学業(専攻)を生かせる交流活動』(36.5%)となっている。

10. 防災・感染症対策

(43) 防災用語についての知識

問 43 『津波』、『洪水』、『土砂災害』、『緊急安全確保』、『避難指示』などの意味を知っていますか。(単数回答)

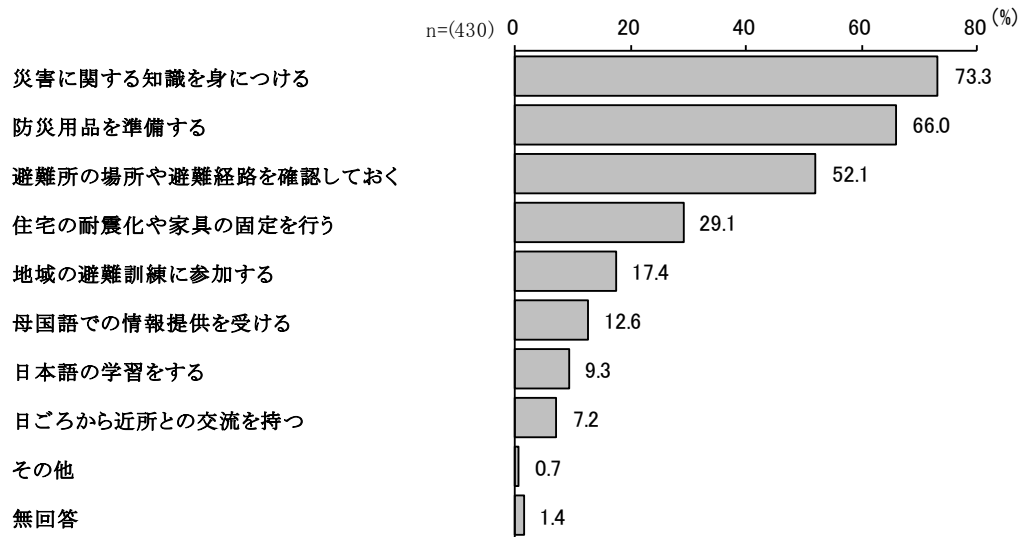


防災用語についての知識については、いずれの項目も「意味も知っている」が最も多く5割以上となっており、特に『津波』では74.2%を占める。「聞いたことがある」については、いずれも2割台となっており、「知らない」については、『津波』以外の項目で2割前後となっている。



## (44) 災害から身を守る方法

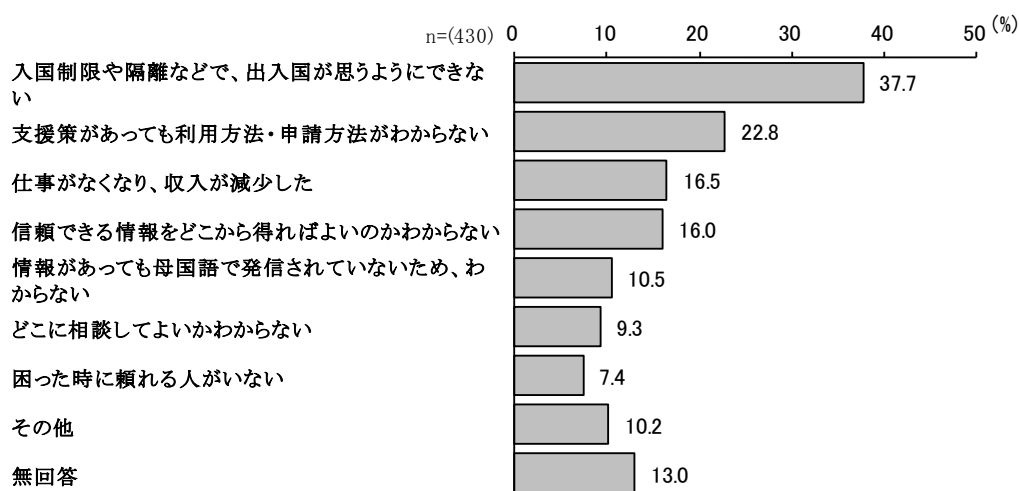
問44 災害から自分の身を守るために、必要であると感じていることは何ですか。(3つまで)



災害から身を守る方法については、「災害に関する知識を身につける」が73.3%と最も多く、以下、「防災用品を準備する」(66.0%)、「避難所の場所や避難経路を確認しておく」(52.1%)、「住宅の耐震化や家具の固定を行う」(29.1%)などとなっている。

## (45) 新型コロナウイルス感染症の影響による困りごと

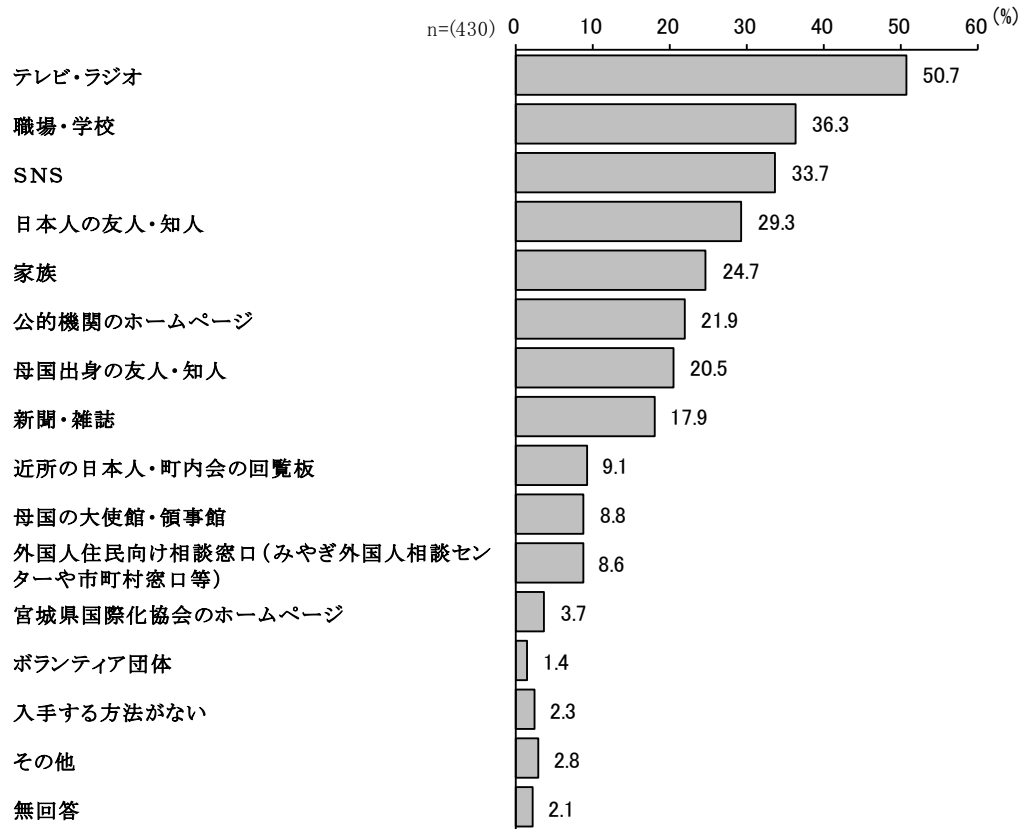
問45 新型コロナウイルス感染症の影響で、どのような困りごとがありますか。(複数回答)



新型コロナウイルス感染症の影響による困りごとについては、「入国制限や隔離などで、出入国が思うようにできない」が37.7%と最も多く、以下、「支援策があっても利用方法・申請方法がわからない」(22.8%)、「仕事がなくなり、収入が減少した」(16.5%)、「信頼できる情報をどこから得ればよいかわからない」(16.0%)などとなっている。

(46) 災害（防災）や感染症（予防・対策）に関する情報の入手先

問 46 あなたは、災害（防災）や感染症（予防・対策）に関する情報をどこから得ていますか。  
 （複数回答）

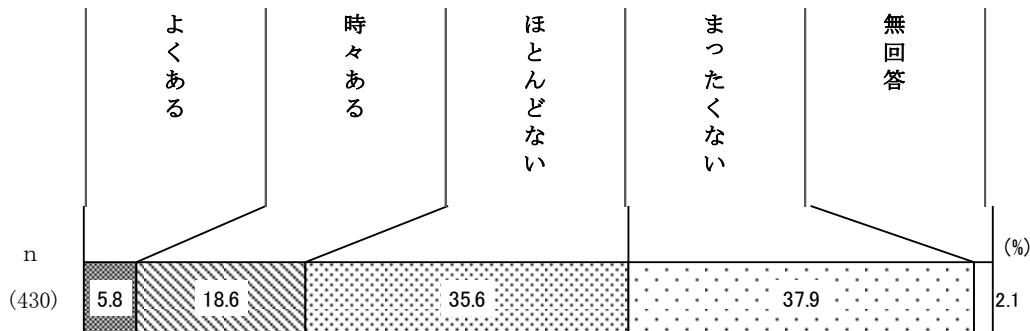


災害（防災）や感染症（予防・対策）に関する情報の入手先については、「テレビ・ラジオ」が50.7%と最も多く、以下、「職場・学校」（36.3%）、「SNS」（33.7%）、「日本人の友人・知人」（29.3%）、「家族」（24.7%）などとなっている。

11. 行政

(47) 行政施設を利用する上で困ったこと

問 47 市役所や町役場、入国管理局などの行政の施設を利用するうえで、困ったことがありますか。(単数回答)



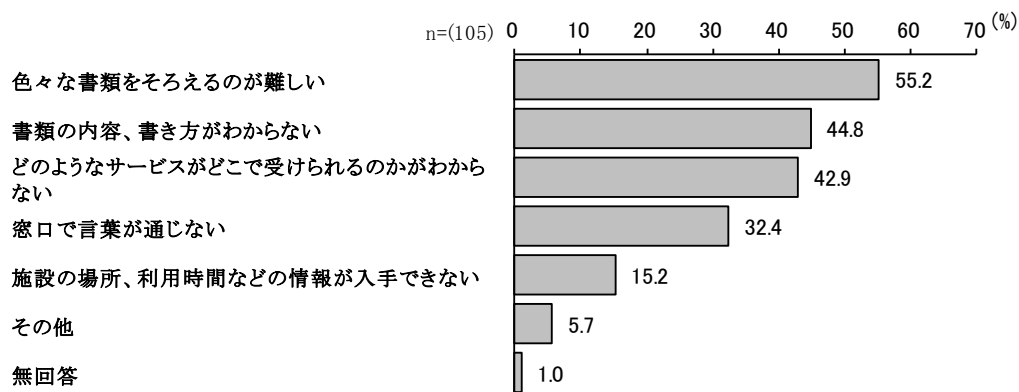
行政施設を利用する上で困ったことについては、「まったくない」が37.9%と最も多く、「ほとんどない」(35.6%)と合わせた《ない》は73.5%を占める。

一方、「よくある」(5.8%)と「時々ある」(18.6%)を合わせた《ある》は24.4%となっている。

(48) 行政施設を利用する上でどのような時に困ったと感じたか

問 48 それはどのようなときに感じましたか。(複数回答)

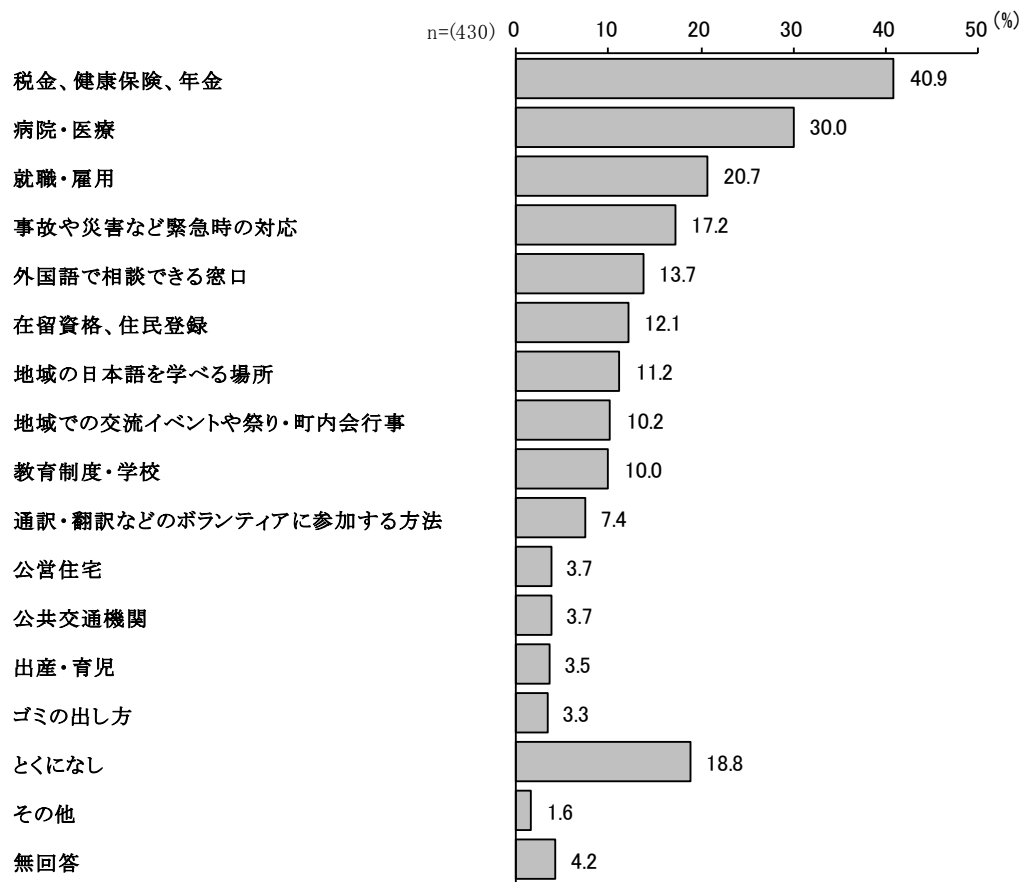
※ (問 47 で「1. よくある」「2. 時々ある」と回答された方が対象)



どのようなときに困ったと感じたかについては、「色々な書類をそろえるのが難しい」が55.2%と最も多く、以下、「書類の内容、書き方がわからない」(44.8%)、「どのようなサービスがどこで受けられるのかわからない」(42.9%)、「窓口で言葉が通じない」(32.4%)などとなっている。

(49) 充実してほしい行政情報

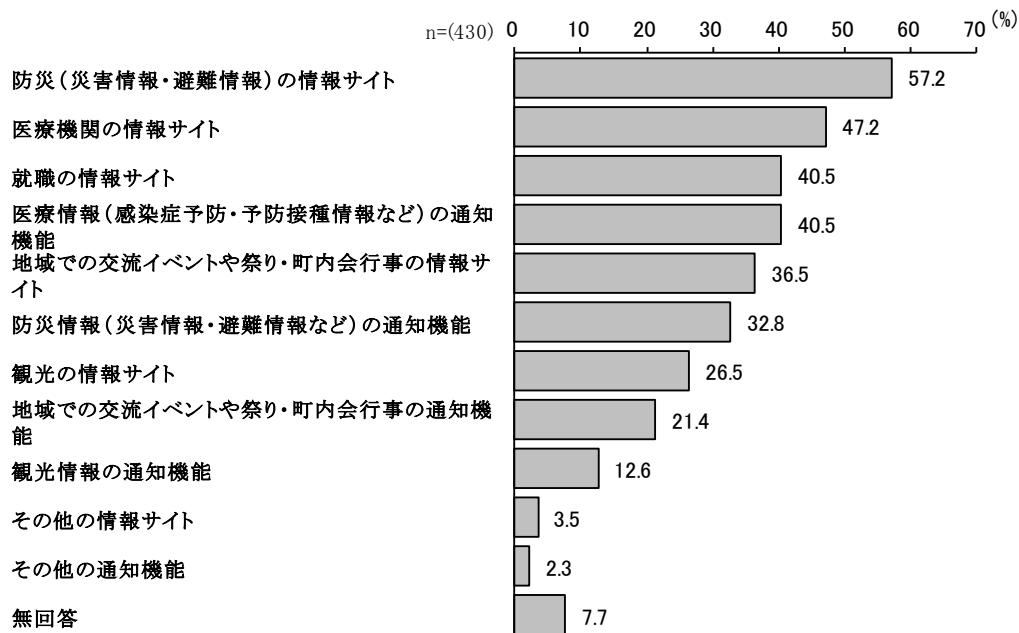
問 49 行政が提供する情報のうち、充実してほしい情報はありますか。(3つまで)



充実してほしい行政情報については、「税金、健康保険、年金」が40.9%と最も多く、以下、「病院・医療」(30.0%)、「就職・雇用」(20.7%)、「事故や災害など緊急時の対応」(17.2%) などとなっている。一方、「とくになし」は18.8%となっている。

## (50) 「外国人住民向け情報発信プラットフォーム」に求める情報や機能

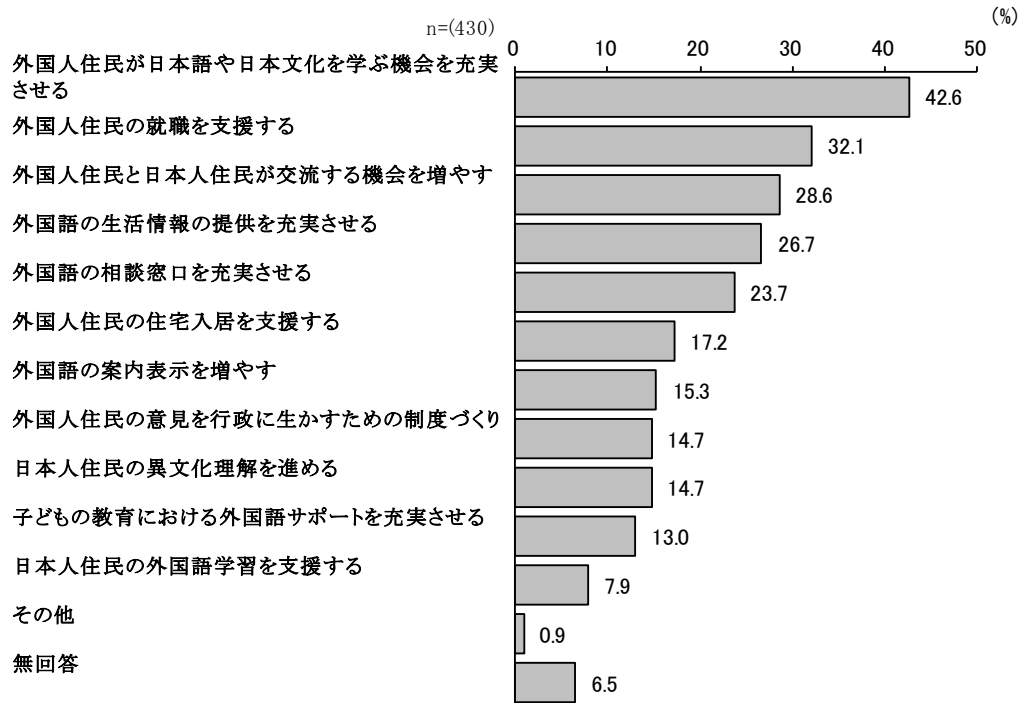
問 50 宮城県では、外国人住民に必要な情報を届けるため、「外国人住民向け情報発信プラットフォーム（外国語対応）」の設置を検討しています。あなたは、「外国人住民向け情報発信プラットフォーム」に、どのような情報や機能があると便利だと思いますか。（複数回答）



「外国人住民向け情報発信プラットフォーム」に求める情報や機能については、「防災（災害情報・避難情報）の情報サイト」が 57.2%と最も多く、以下、「医療機関の情報サイト」（47.2%）、「就職の情報サイト」「医療情報（感染症予防・予防接種情報など）の通知機能」（ともに 40.5%）、「地域での交流イベントや祭り・町内会行事の情報サイト」（36.5%）などとなっている。

(51) 行政に求めること

問 51 外国人住民にとって暮らしやすいまちになるためには、行政はどのようなことをすればよいと思いますか。(3つまで)



行政に求めることについては、「外国人住民が日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる」が 42.6%と最も多く、以下、「外国人住民の就職を支援する」(32.1%)、「外国人住民と日本人住民が交流する機会を増やす」(28.6%)、「外国語の生活情報の提供を充実させる」(26.7%)、「外国語の相談窓口を充実させる」(23.7%) などとなっている。

## 【参考資料】





令和4年度  
宮城県多文化共生アンケート調査

県政の推進につきましては、日頃ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
このアンケートは、宮城県が、外国人住民の皆様の日常生活の状況やお考え、ご意見を把握し、国籍や民族などの違いに関わらず、県民の皆様が安心して暮らせる多文化共生（※）の社会づくりを進めるために実施するものです。  
つきましては、お忙しいところお手数をかけますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和4年11月

宮城県知事 村井 嘉浩

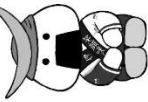
**調査対象者（外国人住民）**  
宮城県内にお住まいの18歳以上の外国人住民の方 1,900人  
（住民基本台帳等から無作為に抽出させていただいております）

**調査回答の方法**  
紙（本紙）またはインターネットのどちらから1つで回答してください。  
①紙（アンケート用紙）に直接記入する  
アンケート用紙は日本語版と外国語版の2種をお送りしています。ご回答は、どちらか1種を使用しただけ、使用したアンケート用紙のみ封筒の返信用封筒に入れ、郵便ポストに投函してください（切手は不要です）。  
②WEBページで回答する  
右側にあるQRコードを読み取り、画面上で回答してください。  
（※日本語のみ対応しています）

**その他**  
12月26日（月）までに、郵便ポストに投函またはWEB回答をお願いします。  
なお、調査は無記名で行い、アンケート結果はすべて統計的に処理しますので、ご回答いただく皆様にご迷惑をおかけすることはありません。



「多文化共生」とは…  
国籍、民族等の異なる人々が、互いに文化的背景等の違いを認め、人権を尊重し、地域社会の対等な構成員として共に生きることを意味しています。



**お問い合わせ先**  
宮城県経済商工観光部国際政策課  
電話：022-211-2972  
E-mail：kokusai@bref.miyagi.jp

1 あなたご自身についてお聞きします

**問1**  
あなたの国籍は次のどれですか。  
あてはまる番号に○をつけてください。

- |               |          |           |             |
|---------------|----------|-----------|-------------|
| 1. 中国         | 2. 韓国    | 3. 朝鮮     | 4. ベトナム     |
| 5. ネパール       | 6. ライビーン | 7. 米国     | 8. インドネシア   |
| 9. 台湾         | 10. タイ   | 11. ハキスタン | 12. バングラデシュ |
| 13. その他（国名： ） |          |           |             |

**問2**  
あなたが住んでいる市町村はどこですか。  
市町村名を記入してください。

市町村名

**問3**  
あなたの性別を教えてください。  
あてはまる番号に○をつけてください。

- |      |      |           |
|------|------|-----------|
| 1. 男 | 2. 女 | 3. 答えたくない |
|------|------|-----------|

**問4**  
あなたの年齢は以下のどれにあてはまりますか。  
あてはまる番号に○をつけてください。

- |          |         |         |          |
|----------|---------|---------|----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20歳代 | 3. 30歳代 | 4. 40歳代  |
| 5. 50歳代  | 6. 60歳代 | 7. 70歳代 | 8. 80歳以上 |

**問5**  
あなたは結婚していますか。  
あてはまる番号に○をつけてください。

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1. している（配偶者の国籍： ） | 3. していないが、死別又は離別した |
| 2. していない          |                    |

**問6**

現在あなたと同居している人はいいますか。  
次のうち、あてはまる方すべての番号に○をつけ、それぞれ( )の  
中に人数を記入してください。また、同居者の国籍について人数、国名  
を記入してください。

1. 配偶者 ( ) 人
2. 子ども ( ) 人
3. 父親・母親 ( ) 人
4. 祖父母 ( ) 人
5. 孫 ( ) 人
6. その他の親族(兄弟姉妹を含む) ( ) 人
7. 友人・知人 ( ) 人
8. ひとり暮らし
- 国籍： a. 日本 ( ) 人
- b. 自分と同じ国籍 ( ) 人
- c. その他の国籍 ( ) 人 (国名： )

**問7**

あなたの在留資格は以下のどれですか。  
あてはまる番号に○をつけてください。

1. 永住者
2. 留学
3. 技能実習
4. 特別永住者
5. 技術・人文知識・国際業務
6. 家族滞在
7. 日本人の配偶者等
8. 特定活動
9. 特定技能
10. 定住者
11. その他 ( )

**問8**

あなたは今後どれくらい、宮城県または日本に住もうと思っていますか。  
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. ずっと宮城県に住み続ける
2. 日本には永住するが、宮城県からは転出する
3. 日本には永住するが、宮城県に住み続けるかわからない
4. 将来は日本を離れる
5. 日本を離れるかどうかかわからない
6. その他(例：母国との間を一定期間ごとに往復する、など)  
(具体的に：)

**問9**

あなたは日本国籍を取得しようと思っていますか。  
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 取得する
2. 取得しない
3. わからない

**2 日常生活についてお聞きします**

**問10**

お住まいの地域の日常生活について、総合的に、どのように感じてい  
ますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 満足
2. やや満足
3. やや不満
4. 不満
5. どちらともいえない

**問11**

日常生活に関する次の個別の事柄について、どのように感じていま  
すか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

生活情報	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. どちらともいえない
住宅環境	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. どちらともいえない
災害に対する備え	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. どちらともいえない
医療・福祉	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. どちらともいえない
近所付き合い	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. どちらともいえない
町や市町村が提供するサービス	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. どちらともいえない

### 3 げんご 言語についてお聞きします

あなたの日本語能力を自分で判断するとすれば、次のどれに当てはまりますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

#### 問12

A 話す	1. 不自由なく話せる	2. だいたい話せる	
	3. あまり話せない	4. ほとんど話せない	
B 聞く	1. 不自由なく聞き取れる	2. だいたい聞き取れる	
	3. あまり聞き取れない	4. ほとんど聞き取れない	
C 読む	[漢字]	1. 不自由なく読める	2. だいたい読める
	[ひらがな]	3. あまり読めない	4. ほとんど読めない
	[カタカナ]	1. 不自由なく読める	2. だいたい読める
		3. あまり読めない	4. ほとんど読めない
D 書く	[漢字]	1. 不自由なく書ける	2. だいたい書ける
	[ひらがな]	3. あまり書けない	4. ほとんど書けない
	[カタカナ]	1. 不自由なく書ける	2. だいたい書ける
		3. あまり書けない	4. ほとんど書けない

#### 問13

日本語の必要性についてどのように考えますか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 現在の仕事・勉強をしていくために必要	
2. 希望する仕事を見つけるために必要	
3. 日常生活のために必要	4. 日本人とつきあうために必要
5. 日本に永住するために必要	6. 母国語で書らせるのであれば必要ない
7. いずれ帰国するのであれば必要ない	8. 必要ない
9. その他 (具体的に: )	

#### 問14

あなたの日本語の学習状況は、次のどれに当てはまりますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 日本語に不自由はないので、学習の必要はない
2. 現在、学習している
3. 現在は学習していないが、できれば学習したい
4. 現在は学習していないし、学習するつもりもない

問14で選択肢1と回答された方は問17へ、  
 選択肢2と回答された方は問15へ、  
 選択肢3、4と回答された方は問16へお進みください

**問15**

問14で「2.」に○をつけた方にお聞きします。  
 あなたはどのように日本語を学んでいますか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 教材やインターネットまたはオンラインなどで自分で勉強している
2. 家族に教えてもらっている
3. 自宅に講師を招き、個人指導を受けている
4. 日本人の知人・友人に教えてもらっている
5. 通っている大学や学校で学んでいる
6. ボランティアの日本語教室に通っている
7. 語学学校（日本語学校）に通っている
8. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

**問16**

問14で「3.」「4.」に○をつけた方にお聞きします。  
 あなたが日本語を学ばない、学んでいない理由は何か。  
 あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 忙しくて勉強する時間がないから
2. 日本語教室や日本語学校の情報がいないから
3. 近くに学べる場がないから
4. 勉強するお金がないから
5. 家族や友人などが通訳してくれるから
6. 母国の言葉だけで生活できるから
7. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

**4**

**生活に必要な情報についてお聞きします**

あなたは、生活に必要な情報をどこから得ていますか。以下の中から、よく利用するものをいくつでも選び、○をつけてください。

**問17**

1. 外国籍住民向け相談窓口（みやぎ外国人相談センターや市町村窓口等）
2. テレビ・ラジオ
3. 新聞・雑誌
4. ハンコンを使用したインターネット
5. 携帯電話を使用したインターネット
6. 職場・学校
7. 家族
8. 日本人の友人・知人
9. 母国出身の友人・知人
10. 近所の日本人、町内会の回覧
11. ボランティア団体
12. 母国の大使館・領事館
13. 入手する方法がない
14. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

**5**

**居住についてお聞きします**

あなたは、通算して日本にどのくらい住んでいますか。また、宮城県、現在住んでいる市町村には、通算して何年間住んでいますか。以下の中から、あてはまる番号を選び、○をつけてください。

**問18**

日本	1. 6ヶ月未満	2. 6ヶ月～11ヶ月	3. 1年～2年11ヶ月	4. 3年～4年11ヶ月
	5. 5年～9年11ヶ月	6. 10年～19年11ヶ月	7. 20年～29年11ヶ月	8. 30年以上
宮城県	1. 6ヶ月未満	2. 6ヶ月～11ヶ月	3. 1年～2年11ヶ月	4. 3年～4年11ヶ月
	5. 5年～9年11ヶ月	6. 10年～19年11ヶ月	7. 20年～29年11ヶ月	8. 30年以上
現在住んでいる市町村	1. 6ヶ月未満	2. 6ヶ月～11ヶ月	3. 1年～2年11ヶ月	4. 3年～4年11ヶ月
	5. 5年～9年11ヶ月	6. 10年～19年11ヶ月	7. 20年～29年11ヶ月	8. 30年以上

7 問19

あなたは現在住んでいる市町村の前はどこに住んでいましたか。以下の  
中から、あてはまる番号を選び、○をつけてください。

- 宮城県内の他の市町村  
( 市・町・村 )
- 宮城県以外の都道府県  
( 都・道・府・県 )
- 日本以外の国・地域  
( 国・地域名 )
- 現在お住まいの市町村以外に住んだことはない

8 問20

医療・福祉についてお聞きします

以下のような保健・医療・介護サービスを利用したことがありますか。  
あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

- 県または市町村の基礎健康診断
- 県または市町村の各種がん検診
- 県または市町村の健康相談
- 県または市町村の心の健康相談
- 休日・時間外の診療機関
- 外国語で診療可能な医療機関
- 介護保険サービス

9 問21

あなたが病気になるって病院に行くときに困ったことはありませんか。  
あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

- 外国語が通じる病院を利用したい  
がどこにあるかわからない
- 休日・夜間に利用できる病院が  
どこにあるかわからない
- 医師や看護師と言葉が通じない
- 日本語の書類・案内が理解できない
- 医療費が高すぎる
- とくに困っていることはない
- その他(具体的に: )

10 問22

あなたが病気になるって病院に行くときに、どのような言語支援がある  
と良いと思いますか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてく  
ださい。

- 通訳者
- 母国語で会話ができるスタッフや医師
- 翻訳機
- 言語支援の必要はない
- その他(具体的に: )

11 問23

7 育児・教育についてお聞きします

あなたには現在、18歳未満のお子さんがいますか。  
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。また、「2.」に○  
をつけた方は人数を記入し、それぞれのお子さんについて下記のとおり  
お答えください。

1. いない	2. いる ( ) 人
現在の年齢	日本で生まれたお子さんに○
1人目 ( ) 歳	日本に移住したお子さんは、移住してきた年齢
2人目 ( ) 歳	【 】 歳
3人目 ( ) 歳	【 】 歳
4人目 ( ) 歳	【 】 歳
5人目 ( ) 歳	【 】 歳

問23で選択肢1と回答された方は問30へ、  
選択肢2と回答された方は問24へお進みください

**問24**

あなたがご家庭でお子さんと会話するとき使う言語は以下のうちどれですか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

(1) 日本で生まれたお子さんがいる場合

- 1. 日本語だけ
- 2. 主に日本語
- 3. 日本語と母国語が同じぐらい
- 4. 主に母国語
- 5. その他（具体的に：）

(2) 日本に移住してきたお子さんがいる場合

- 1. 日本語だけ
- 2. 主に日本語
- 3. 日本語と母国語が同じぐらい
- 4. 主に母国語
- 5. その他（具体的に：）

**問25**

育児について、以下のようなことで困っていることはありませんか。あてはまる番号をいくつも選び、○をつけてください。

- 1. 子育てに関する悩みを相談できる相手がない
- 2. 子育てに関する情報が日本語なのでわかりにくい
- 3. 子育てについて日本人の家族と意見が合わない
- 4. 同じように子育てをしている人と知り合う機会がない
- 5. 保健師や保育士などとコミュニケーションがとれない
- 6. とくにない
- 7. その他（具体的に：）

**問26**

以下のような子育て支援制度を利用したことはありませんか。あてはまる番号をいくつも選び、○をつけてください。

- 1. 母子健康手帳
- 2. 妊産婦・新生児訪問指導
- 3. 乳幼児への予防接種
- 4. 乳幼児の健康診査、検査
- 5. 児童手当
- 6. 児童扶養手当
- 7. 放課後児童クラブ
- 8. 子育てに關する各種電話相談

**問27**

教育について、以下のようなことで困っていることはありませんか。あてはまる番号をいくつも選び、○をつけてください。

- 1. 子どもが日本語がうまくできないので授業が理解しにくい
- 2. 子どもが学校になじまない
- 3. 進路、進学について不安がある
- 4. 子どもが外国人であることで差別を受けていると感じる
- 5. 言葉の違いなどから、保護者と学校との意思疎通がうまくいかない
- 6. 保育所が近くにない
- 7. 色んな費用が高い
- 8. とくにない
- 9. その他（具体的に：）

**問28**

あなたはお子さんに母国語や母国の文化についての教育を受けさせたいと思いますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

- 1. 現在受けさせており、今後も受けさせたいと思う
- 2. 現在は受けさせていないが、今後は受けさせたいと思う
- 3. 現在受けさせているが、今後は受けさせたいとは思わない
- 4. 現在は受けさせておらず、今後も受けさせたいとは思わない
- 5. わからない

**問27で選択肢2、3、4と回答された方は問29へ、  
問28で選択肢2、3、4と回答された方は問29へ、  
問27で選択肢1、5と回答された方は問30へお進みください**

**問29**

問28で「2.」「3.」「4.」に○をつけた方にお聞きします。現在受けさせていない、あるいは今後受けさせたいとは思わない理由は何ですか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 母国語や文化を教えてくれる場所がない・知らない
2. 母国語や文化を学ぶ必要はない
3. 子どもが関心をもっていない
4. 日本語や日本文化を身につける妨げになる
5. 日本での勉強の妨げになる
6. その他（具体的に： ）

**8 労働についてお聞きします**

**問30**

あなたは現在、どのような形態で仕事をしていますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 経営者
2. 正社員
3. 派遣社員・契約社員
4. 自営業（営業従業者、自由業等含む）
5. パートタイム勤務、アルバイト、内職
6. 学生
7. 無職（1～6以外で仕事を探している）
8. 無職（1～6以外で仕事を探していない）

**問30**で選択肢1、2、3、4、5と回答された方は**問31**へ、**問31**で選択肢6、7と回答された方は**問34**へ、**問34**で選択肢8と回答された方は**問35**へお進みください

**問31**

あなたの現在の職業は以下のうちどれにあたりますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。2つ以上ある場合は、主なもの1つに○をつけてください。

1. 教員
2. 医療関係職
3. その他の専門職（弁護士、会計士等）
4. 経営・管理職（課長以上）
5. 事務職
6. 技術職（研究員、技術者等）
7. 技能職（工場労働者、運転士等）
8. サービス職（販売員、接客等）
9. 作業員（清掃、建設、土木、配達員等）
10. 農林漁業
11. その他の職業（具体的に： ）

**問32**

あなたは現在の仕事をどのようにして見つけましたか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 家族の紹介（親の仕事を継いだり、家族の仕事を手伝っている場合も含む）
2. 新聞・求人誌・チラシなど
3. 学校の紹介
4. 母国出身の友人・知人の紹介
5. 日本人の友人・知人の紹介
6. 職業安定所（ハローワーク）の紹介
7. 仕事を紹介する民間会社の紹介
8. 自分で設立
9. その他（具体的に： ）

とくい  
問33

仕事で困っていることや不満はありませんか。  
あてはまる番号をいくつも選んでも選び、○をつけてください。

1. 給料が安い
2. 雇用期間が短い
3. 労働時間が長い
4. いつ解雇されるか不安がある
5. 正職員になれない、又は昇格できない
6. 日本人とお互いの考えを理解しあえない
7. 上司や同僚との人間関係がうまくいっていない
8. 外国人として差別的な扱いを受けているように感じる
9. 希望する職種、業種ではない
10. とくにない
11. その他（具体的に）

とくい  
問34

あなたは今後、宮城県または日本で働こうと思っていますか。  
あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 宮城県で働きたい
2. 日本で働きたいが、宮城県以外で働きたい
3. 母国に帰って働きたい
4. 日本と母国以外の国で働きたい
5. わからない
6. その他（具体的に）

とくい  
問35

問30で「8.」に○をつけた方にお聞きします。  
仕事を探していない理由は何ですか。  
最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. 就職できないから
- (①から③のうち、最もあてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。)
- ① 日本語がうまく話せないから
- ② 探しても希望する就職先が見つからないから
- ③ 外国人を雇用する企業が少ないから
2. 働く意欲がわからないから
3. 生活していく上で必要がないから
4. 以前の勤務先の人間関係がよくなかったから
5. その他（具体的に）



**9**

**しゃがいせいかつつぽん**  
**社会生活一般についてお聞きします**

現在、あなたには、仲良くしている日本人はいますか。a. 職場、b. 学校、  
c. 地域、d. 職場・学校・地域以外のそれぞれについて、あてはまる番号  
を1つ選び、○をつけてください。

**とくい**  
**問36**

a. 職場

1. 何でも話し合える人がいる	2. たまに立ち話をする人ならいる
3. あいさつをすすめる程度の人 しかいない	4. まったくいない
5. 働いていない	

b. 学校

1. 何でも話し合える人がいる	2. たまに立ち話をする人ならいる
3. あいさつをすすめる程度の人 しかいない	4. まったくいない
5. 学校に行っていない	

c. 地域  
(同じ町内  
の人など)

1. 何でも話し合える人がいる	2. たまに立ち話をする人ならいる
3. あいさつをすすめる程度の人 しかいない	4. まったくいない

d. 職場・  
学校・地  
域以外

1. 何でも話し合える人がいる	2. たまに立ち話をする人ならいる
3. あいさつをすすめる程度の人 しかいない	4. まったくいない

**とくい**  
**問37**

あなたには、次のA～Dのようなことで悩んだり困ったりした場合、  
家族や親戚以外で、誰にまだどこに相談をしようと思えますか。  
A～Dのそれぞれについて、あてはまる番号をいくつでも選び、○をつ  
けてください。

<b>A</b> 人間関係	1. 母国出身の友人・知人	2. 近所の人
	3. 日本人の友人・知人 (2以外)	4. 母国出身者や日本人以外の友人・知人
	5. 日本語教室の関係者	6. 民間の相談所やボランティア団体
	7. 市役所、町村役場、県庁などの窓口	8. 市町村国際交流協会や宮城県国際化協会
	9. 自分で解決するので、相談しない	10. 相談する相手がない
	11. その他 ( )	
<b>B</b> 文化・ 習慣	1. 母国出身の友人・知人	2. 近所の人
	3. 日本人の友人・知人 (2以外)	4. 母国出身者や日本人以外の友人・知人
	5. 日本語教室の関係者	6. 民間の相談所やボランティア団体
	7. 市役所、町村役場、県庁などの窓口	8. 市町村国際交流協会や宮城県国際化協会
	9. 自分で解決するので、相談しない	10. 相談する相手がない
	11. その他 ( )	
<b>C</b> 家族・ 生活	1. 母国出身の友人・知人	2. 近所の人
	3. 日本人の友人・知人 (2以外)	4. 母国出身者や日本人以外の友人・知人
	5. 日本語教室の関係者	6. 民間の相談所やボランティア団体
	7. 市役所、町村役場、県庁などの窓口	8. 市町村国際交流協会や宮城県国際化協会
	9. 自分で解決するので、相談しない	10. 相談する相手がない
	11. その他 ( )	
<b>D</b> 仕事・ 学業	1. 母国出身の友人・知人	2. 近所の人
	3. 日本人の友人・知人 (2以外)	4. 母国出身者や日本人以外の友人・知人
	5. 日本語教室の関係者	6. 民間の相談所やボランティア団体
	7. 市役所、町村役場、県庁などの窓口	8. 市町村国際交流協会や宮城県国際化協会
	9. 自分で解決するので、相談しない	10. 相談する相手がない
	11. その他 ( )	

**問38**

あなたは今後、地域の日本人とどのような交流をしたいと思いますか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 地域の行事にもっと参加したい
2. いっしょにボランティア活動などの社会活動をした
3. 日本人に母国の文化を紹介したい
4. 日本の文化や習慣を学びたい
5. いっしょに食事や買い物に行きたい
6. 家庭のことや子育てなどについて話したい
7. とくに交流したいとは思わない
8. その他（具体的に： ）

**問39**

あなたは生活上、外国人だということでない経験やつらい思いをした（している）ことがありますか。あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. よくある
2. 時々ある
3. ほとんどない
4. まったくない
5. 過去に経験したことがあるが、今はほとんどない・まったくない

**問39で選択肢1、2、5と回答された方は問40へ、  
選択肢3、4と回答された方は問41へお進みください**

**問40**

問39で「1.」「2.」「5.」に○をつけた方にお聞きします。それほど  
のようなきに感じましたか。あてはまる番号をいくつでも選び、○を  
つけてください。

1. 任事中
2. 日本人の友人との交際するとき
3. 住まいを探すとき
4. 仕事を探すとき
5. 近所との付き合いの中で
6. 子どもが学校などで
7. 買い物や食事をしているとき
8. 公的機関などでの手続きのとき
9. 移動しているとき(歩いているときや公共交通機関を利用しているときなど)
10. テレビ・インターネットなどのメディアの情報で
11. その他（具体的に： ）

**問41**

あなたが生活している上で、現在最も困っていることは何ですか。あてはまる番号を3つまで選び、○をつけてください。

1. 子育て・教育
2. 病氣・けが
3. 就職
4. 仕事
5. 生活費用
6. 住宅
7. 日本語の理解
8. 家族の介護
9. 老後の生活
10. 家族との人間関係
11. 家族に関する問題(1、8～10を除く)
12. 友人・知人や近所の人との人間関係
13. とくになし
14. その他（具体的に： ）

**問42**

あなたは、仕事や学業以外で何らかの社会活動をしていますか。またはどのようなことを考えていますか。それぞれについて、あてはまる番号を選び、○をつけてください。

1. 母国語や母国文化を生かせる交流活動	1. している	2. してみたい
3. する予定なし	3. する予定なし	
2. 自分の仕事や学業(専攻)を生かせる交流活動	1. している	2. してみたい
3. する予定なし	3. する予定なし	
3. 特技や趣味を生かせる文化・スポーツ活動	1. している	2. してみたい
3. する予定なし	3. する予定なし	
4. 住民として地域のために役立つ活動	1. している	2. してみたい
3. する予定なし	3. する予定なし	
5. 福祉や国際協力などのボランティア活動	1. している	2. してみたい
3. する予定なし	3. する予定なし	
6. 母国出身者のために役立つ活動	1. している	2. してみたい
3. する予定なし	3. する予定なし	

## 10 ぼうさい かんせんしょうたいさく 防災や感染症対策についてお聞きします

『津波』、『洪水』、『土砂災害』、『緊急安全確保』、『避難指示』などの意味を知っていますか。

それぞれ言葉について、あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

津波	1. 聞いたことがある	2. 意味も知っている	3. 知らない
洪水	1. 聞いたことがある	2. 意味も知っている	3. 知らない
土砂災害	1. 聞いたことがある	2. 意味も知っている	3. 知らない
緊急安全確保	1. 聞いたことがある	2. 意味も知っている	3. 知らない
避難指示	1. 聞いたことがある	2. 意味も知っている	3. 知らない

災害から自分の身を守るために、必要であると感じていることは何ですか。あてはまる番号を3つまで選び、○をつけてください。

1. 災害に関する知識を身につける	2. 防災用品を準備する
3. 住宅の耐震化や家具の固定を行う	
4. 避難所の場所や避難経路を確認しておく	
5. 地域の避難訓練に参加する	
6. 母国語での情報提供を受ける	7. 日本語の学習をする
8. 日ごろから近所との交流を持つ	
9. その他（具体的に：_____）	

## 正しい 問45

新型コロナウイルス感染症の影響で、どのような困りごとがありますか。あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 信頼できる情報をどこから得ればよいかわからない
2. 情報があっても母国語で発信されていないため、わからない
3. 支援策があっても利用方法・申請方法がわからない
4. どこに相談してよいかわからない
5. 困った時に頼れる人がいない
6. 仕事がなくなり、収入が減少した
7. 入国制限や隔離などで、出入国が思うようにできない
8. その他（具体的に：_____）

## 正しい 問46

あなたは、災害（防災）や感染症（予防・対策）に関する情報をどこから得ていますか。

あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 外国人住民向け相談窓口（みやぎ外国人相談センターや市町村窓口等）		
2. テレビ・ラジオ	3. 新聞・雑誌	4. 公的機関のホームページ
5. 宮城県国際化協会のホームページ	6. 職場・学校	9. 母国出身の友人・知人
7. 家族	8. 日本人の友人・知人	11. ボランティア団体
10. 近所の日本人・町内会の回覧板	13. SNS	
12. 母国の大使館・領事館	14. 入手する方法がない	
15. その他（具体的に：_____）		

# 11 行政についてお聞きします

市役所や町役場、出入国管理局など行政の施設を利用するうえで、困ったことがありますか。

あてはまる番号を1つ選び、○をつけてください。

1. よくある
2. 時々ある
3. ほとんどない
4. まったくない

## 問47

問47で選択肢1、2と回答された方は問48へ、  
選択肢3、4を回答された方は問49へお進みください

問47で「1.」「2.」に○をつけた方にお聞きします。それほどのよう  
なときに感じましたか。

あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. どのようなサービスがどこで受けられるのかわからない
2. 施設の種類、利用時間などの情報が入手できない
3. 窓口で言葉が通じない
4. 書類の内容、書き方がわからない
5. 色々な書類をそろえるのが難しい
6. その他（具体的に：）

## 問49

行政が提供する情報のうち、充実してほしい情報がありますか。  
あてはまる番号を3つまで選び、○をつけてください。

1. 就職・雇用
2. 病院・医療
3. 出産・育児
4. 教育制度・学校
5. 税金、健康保険、年金
6. 事故や災害など緊急時の対応
7. 在留資格、住民登録
8. 公営住宅
9. 公共交通機関
10. ゴミの出し方
11. 地域の日本語を学べる場所
12. 外国語で相談できる窓口
13. 通訳・翻訳などのボランティアに参加する方法
14. 地域での交流イベントや祭り・町内会行事
15. とくになし
16. その他（具体的に：）

## 問50

宮城県では、外国人住民に必要な情報を届けるため、「外国人住民向け  
情報発信プラットフォーム（外国語対応）」の設置を検討しています。  
あなたは、「外国人住民向け情報発信プラットフォーム」に、どのよう  
な情報や機能があると便利だと思いますか。  
あてはまる番号をいくつでも選び、○をつけてください。

1. 防災（災害情報・避難情報）の情報サイト
2. 地域での交流イベントや祭り・町内会行事の情報サイト
3. 観光の情報サイト
4. 医療機関の情報サイト
5. 就職の情報サイト
6. その他の情報サイト（具体的に：）
7. 防災情報（災害情報・避難情報など）の通知機能
8. 地域での交流イベントや祭り・町内会行事の通知機能
9. 観光情報の通知機能
10. 医療情報（感染症予防・予防接種情報など）の通知機能
11. その他の通知機能（具体的に：）

お問い合わせ51

外国人住民にとって暮らしやすいまちになるためには、行政はどのようなことをすればよいと思いますか。重要だと思われることを3つまで選び、あてはまる番号に○をつけてください。

1. 外国人住民が日本語や日本文化を学ぶ機会を充実させる
2. 外国語の生活情報の提供を充実させる
3. 外国語の相談窓口を充実させる
4. 外国語の案内表示を増やす
5. 子どもの教育における外国語サポートを充実させる
6. 外国人住民の就職を支援する
7. 外国人住民の住宅入居を支援する
8. 外国人住民の意見を行政に生かすための制度づくり
9. 日本人住民の異文化理解を進める
10. 日本人住民の外国語学習を支援する
11. 外国人住民と日本人住民が交流する機会を増やす
12. その他（具体的に： )

お問い合わせ52

最後に、生活の中で困っていることや、行政にとり組んでほしいことなど、自由にご記入ください。

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

.....

アンケート調査へのご協力ありがとうございました。





令和4年度宮城県  
多文化共生アンケート調査（外国人対象調査）  
調査結果報告書【概要版】

---

令和5年3月発行

【編集・発行】宮城県経済商工観光部国際政策課

〒980-8570 仙台市青葉区本町三丁目8番1号

TEL 022-211-2972 FAX 022-268-4639

URL <https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/kokusaisei/>

【集計・分析】株式会社サーベイリサーチセンター